

P1～

1.  
お客様による  
取付・設定の方法

P4～

2.  
クイックコネクタ  
配線時の注意事項

P28～

3.  
ビジネスホン/  
PBX接続時の  
注意事項

P32～

4.  
『ひかり電話』  
併用時の注意  
事項

P36～

5.  
固定IPアドレス  
付与時の注意事項

P39～

## ⚠️ はじめに必ずお読みください。

本装置が梱包されていた「梱包箱」及び同梱の「緩衝材」「アクセサリ類」(以下、「同梱物」)は廃棄せず、ご返却時まで保管してください。解約/故障等により本装置をご返却頂く際には、同梱物と共に回収致します。

そのため、お手数ですが、ご返却時まで必ずお客様にて同梱物を保管して頂きますようお願い申し上げます。(万が一、お客様にて紛失された場合は、別途、相当額を頂くことがございますが、あらかじめご了承願います。)

本ガイドブックは失わないように、大切に保管してください。

# !! はじめにお読みください !!

## ■ ■ 取付または設定をはじめる前に ■ ■

この度は、NTTドコモビジネス株式会社の「Arcstar IP Voice」「Arcstar IP Voiceアクセサセット」サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

弊社よりレンタル提供致しますVoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をご利用されるには、お客様側で以下の作業等を行っていただくことが必要です。

- ◆本装置の取付・設置 ……「お客さま設置」時のお客様共通の事項
- ◆認証ID/パスワードの設定 ……「PPPoE」接続(本装置のブロードバンドルータ機能ご利用)の場合
- ◆ケーブルコネクタの付替え ……お客様共通の事項
- ◆PBX装置の関連対応 ……対象となる接続形態又は機能/サービス等ご利用の場合

各作業の前に、必ずご確認願いたい事項をまとめておりるので、ご一読願います。

## ① 本体/付属品及び同梱書類の確認を行ってください。

### 【同梱書類】

- 「ご利用ガイドブック」(本紙)

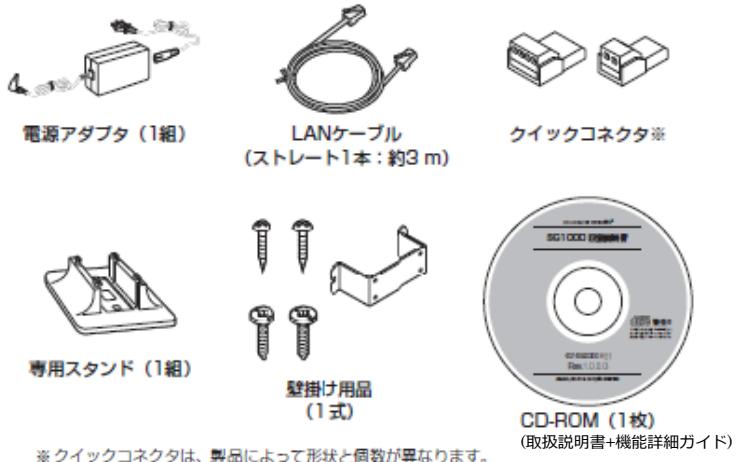
### 【本体/付属品】

- VoIPゲートウェイ装置 本体 × 1台
- 電源アダプタ × 1組
- LANケーブル(約3m) × 1本
- クイックコネクタ × 1袋
- 専用スタンド × 1組
- 壁掛け用品 × 1式
- CD-ROM(取扱説明書) × 1枚

### ■本体



### ■付属品



\* クイックコネクタは、製品によって形状と個数が異なります。

- SG1000an4 : 2芯、6個
- SG1000is4 : 4芯、5個
- SG1000an8 : 2芯、10個
- SG1000is8 : 4芯、8個

### 困ったときは…

- ・本体/付属品が足りません……
  - ・本体/付属品の破損または同梱書類の乱丁・落丁が見つかりました……
- ⇒大変申しわけございませんが、本装置を送付させていただきました際の「送り状」の送付元にご連絡願います。早急に対応させていただきます。

# !! はじめにお読みください !!

## 《重要事項》

### 1. Arcstar IP Voice(OCN<B>) または Arcstar IP Voice(OCN<C>)をご契約のお客様へ

- VoIPゲートウェイ機能とブロードバンドルータ機能の両機能を用いて本装置をお使いになる (=PPPoE接続) 場合、お客様側でのインターネット接続(PPPoE)の設定が必要となります。 設定の入力方法については、ガイドNo.③-1ないしNo.⑥-1、及び同梱CD-ROMの「取扱説明書」[4. 本商品の設定(4-6)]を参照願います。  
なお、設定項目の1つとして、**OCNの「認証ID」「認証パスワード」は入力が必須**となります。 同情報は、弊社よりお知らせしましたOCNの「ご利用内容のご案内」(送付文書又はWeb)に掲載しておりますのでご確認願います。
- インターネット接続(PPPoE)の設定に加えて、ネットワークの詳細設定を行う場合は、同梱CD-ROMの「機能詳細ガイド」を参照願います。  
なお、詳細設定を行う場合、以下の点を留意の上、お客様の管理と責任のもとで実施を願います。
  - 詳細設定に伴って、本サービスのご利用に影響があつても、弊社では一切保証できません。
  - 故障時に本装置を交換した際、この詳細設定はお客様にて再度設定いただきます。
- お客様が、**OCNの「認証パスワード」を変更された場合、本装置に入力設定された「認証パスワード」も変更することが必須**となります。 本装置において、**OCNの「認証パスワード」を設定変更しないとインターネットやIP電話による通信ができなくなります**ので、ご注意ください。
- インターネット接続(PPPoE)の設定等を行う際に入力が必須となる、本装置自体の「ログインパスワード」については、お客様側で適切な管理をお願い致します。
- **管理者(弊社)用アカウントで設定画面にアクセスすることは、絶対に行わないでください。**  
ユーザ名とパスワードを類推し、万一、お客様が管理者用アカウントでログインされた場合、IP電話等の設定内容に変化が生じ、通話ができなくなるなどの支障が生じる懼れがあります。 この場合、弊社では、保守対応の範疇としての故障復旧対応等の責務を一切負うことができません。

### 2. 「取扱説明書」最新版の入手方法について

同梱のCD-ROMには、本装置の「取扱説明書」の現時点での最新版を入れておりますが、今後、弊社側では必要に応じて、逐次、「取扱説明書」を改訂・更新致します。

弊社側では、「取扱説明書」を改訂・更新する都度、下記のURLのサイトにて最新版のPDFファイルをアップ掲載致しますので、適宜、ご確認及びダウンロードの上、ご利用頂きますようよろしくお願い致します。

<URL> [http://www.ntt.com/a\\_ipvoice/data/manual.html](http://www.ntt.com/a_ipvoice/data/manual.html)

## ②ご利用のネットワークサービスと機種にあつたガイドをご確認ください。

お申込された ネットワークサービス		お申込されたレンタル装置 (VoIPゲートウェイ装置)の機種	
◆Arcstar IP Voice (Universal One) <または> ◆Arcstar IP Voice アクセスセット		(IV型) SG1000an4 または (V型) SG1000an8	(VI型) SG1000is4 または (VII型) SG1000is8
◆Arcstar IP Voice (OCN<B>) かつ「光アクセス IP8(以上)」		ガイド No.①	ガイド No.④
◆Arcstar IP Voice (OCN<B>) かつ 「光アクセス IP1または動的IPアドレス」 <または> ◆Arcstar IP Voice (OCN<C>)		ガイド No.②	ガイド No.⑤
		【PPPoE接続の場合】*1 ガイド No.③-1 【UPnP接続の場合】*2 ガイド No.③-2	【PPPoE接続の場合】*1 ガイド No.⑥-1 【UPnP接続の場合】*2 ガイド No.⑥-2

\*1) PPPoE接続の場合は、本VoIPゲートウェイ装置に実装のブロードバンドルータ機能を利用してインターネットにアクセスする形態を指します。

\*2) UPnP接続の場合は、本VoIPゲートウェイ装置の上位(WAN側)にお客様準備のブロードバンドルータ装置を接続し、インターネットにアクセスする形態を指します。

困ったときは…

- ・どのネットワークサービス申し込んだかわかりません……  
→弊社より通知致しました「ご利用内容のご案内」(送付文書又はWeb)に掲載されておりますので、ご確認ください。

## ③併せて、「2. クイックコネクタ配線時の注意事項」、対象形態や必要に応じて 「3. ビジネスホン/PBX接続時の注意事項」、「4. 『ひかり電話』併用時の注意 事項」、「5. 固定IPアドレス付与時の注意事項」の各ページを確認願います。

# 1. お客様による取付・設定の方法



## 【お読みください】

◎「お客さま設置」時の必須事項です。お読みください。

### (IV型) SG1000an4 または (V型)SG1000an8

- ・ Arcstar IP Voice (Universal One)  
<または>
- ・ Arcstar IP Voice アクセスセット

ガイド No.① ⇒P.5 へ

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)  
かつ「光アクセス IP8(以上)」

ガイド No.② ⇒P.7 へ

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)  
かつ  
「光アクセスIP1または動的IPアドレス」  
<または>
- ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>)

【PPPoE接続の場合】

ガイド No.③-1 ⇒P.10 へ

【UPnP接続の場合】

ガイド No.③-2 ⇒P.13 へ

### (VI型) SG1000is4 または (VII型)SG1000is8

- ・ Arcstar IP Voice (Universal One)  
<または>
- ・ Arcstar IP Voice アクセスセット

ガイド No.④ ⇒P.17 へ

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)  
かつ「光アクセス IP8(以上)」

ガイド No.⑤ ⇒P.19 へ

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)  
かつ  
「光アクセスIP1または動的IPアドレス」  
<または>
- ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>)

【PPPoE接続の場合】

ガイド No.⑥-1 ⇒P.22 へ

【UPnP接続の場合】

ガイド No.⑥-2 ⇒P.25 へ

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

Arcstar IP Voice(Universal One)、Arcstar IP Voiceアクセスセット  
のいずれかを利用する場合

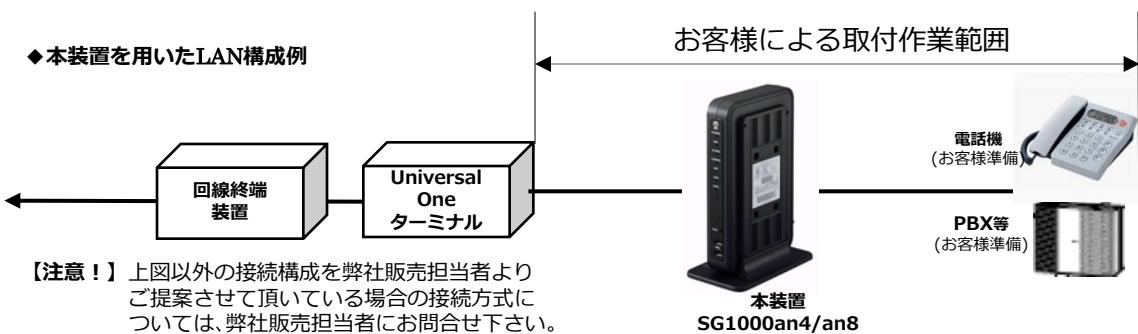
## § ご確認ください!!



このガイドは、  
Arcstar IP Voice(Universal One)、Arcstar IP Voiceアクセスセット  
のいずれかをご利用される場合のものです。

## 【取付作業等を始める前に】

本ガイドでは、VoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をお客様ご自身で取付・設置される際の手順をご案内しております。本紙に記載された手順通りに作業を行って頂くことにより、スムーズにIP電話のご利用を開始できます。



## 【STEP1】本装置とUniversal Oneターミナルを接続します

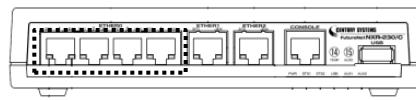
Universal OneターミナルのLANポートと本装置のWANポートをRJ-45のストレートケーブルで接続します。(右図の①が本装置のWANポートで、下図点線枠内がUniversal OneターミナルのLANポートです)

※まだ、本装置に電源ケーブルを差し込まないでください。

※配線を間違えると通信ができませんので、図を良くご確認の上、作業を進めてください。

## 【注意！】

Universal Oneターミナルと本装置の間にハブやルータをはさむ等の構成の場合、接続方法については、別途、弊社販売担当者におたずねください。



Universal Oneターミナル I 型背面

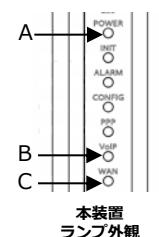
## 【STEP2】本装置の電源を入れます

①本装置の電源アダプタコード端子に電源アダプタのDCプラグを差し込んでください。

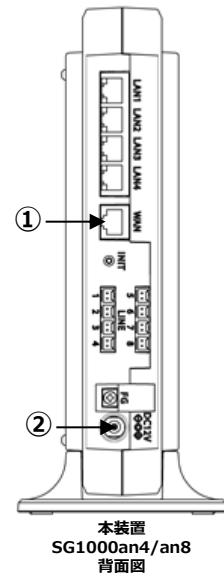
(右図②が本装置の電源アダプタコード端子です)

②本装置のランプ状態を確認します。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。※ランプ表示の詳細はP.36参照。

POWER点灯(緑)	-ランプA
VoIP点灯(緑)	-ランプB
WAN点灯(緑)	-ランプC



本装置 ランプ外観



本装置 SG1000an4/an8 背面図

## 困ったときは…

- ・ POWERランプが点かない  
→電源ケーブルが抜けていませんか？
- ・ WANランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？WANポートのケーブルはつながっていますか?  
→Universal Oneは開通していますか？
- ・ VoIPランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？WANポートのケーブルはつながっていますか?  
→Universal Oneは開通していますか？

※上記を確認してもランプが正常に点灯しない場合、本装置の電源を入れなおしてください。

# 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

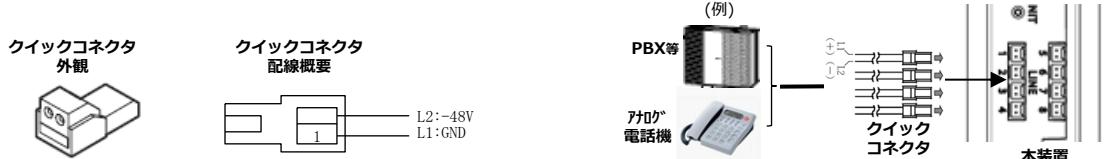
Arcstar IP Voice(Universal One)、Arcstar IP Voiceアクセスセット  
のいずれかを利用する場合

## 【STEP3】本装置に電話機等を接続し、開通試験を実施します

### 1) クイックコネクタの準備

※作業手順や注意点は「[2. クイックコネクタ配線時の注意事項](#)」を参照。

本装置と電話機やPBX装置等を接続するには、本装置に接続する側の電話線のコネクタ(RJ-11)を本装置のLINEポートの形状に合せるため、クイックコネクタに付替える必要があります。



本装置と電話機/PBX装置等とは、ストレート接続(双方のL1、L2が各々一致するように接続)する必要があります。クイックコネクタに付替える際には、十分に注意願います。

### 2) 開通試験

以下の要領で開通試験を実施してください。

#### ◆発信試験

- 1)受話器をあげて、ツー音が聞こえることを確認してください。
- 2)ゆっくり「1111」をダイヤルしてください。
- 3)電話がつながり、以下のガイダンスが流れます(通話料無料)。  
『正常に接続されました・・・』

#### ◆着信試験(通話料はお客様ご負担となります)

- 1)携帯電話/固定電話等から、今回ご利用頂くIP電話番号(基本契約番号)をダイヤルします。
- 2)IP電話に着信しましたら受話器をあげて正常に会話ができる事を確認してください。

**【注意!】**お申込の際に「PBX接続で利用する」を選択した場合は、任意のLINEポートを利用できますが、「電話機接続で利用する」を選択した場合は、ヒアリングシートに記載されたLINEポートに着信します。  
詳細は弊社販売担当者におたずねください。

#### 困ったときは…

- ・IP電話から発信できません…(受話機をあげてもツー音が聞こえない場合)
  - クイックコネクタの配線でL1/L2は正しく結線されていますか?クロス状態の時にはツー音が聞こえません。
  - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか?(STEP2から確認した後、STEP1から再度配線を見直してください)
- ・IP電話に着信できません…
  - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか?(VoIPランプが点灯していますか?配線を見直してください)
- ・IP電話に着信したときに受話器をあげると、いきなり切断されてしまいます
  - 電話機がナンバーディスプレイに非対応にも関わらず、本装置はナンバーディスプレイを「利用する」でお申込されていませんか?  
着信してしばらくたってから受話器をあげてみて、通話ができるのであれば、その可能性は高いと考えられます。
- ・音声がとぎれます...
  - Universal OneターミナルのLANポートと本装置のWAN側ポートのインターフェースのアンマッチが考えられます。  
Universal OneターミナルのLANポートの設定と本装置のWAN側インターフェースをご確認ください。

\*本装置をビジネスホン/PBX等に接続している場合は、必ず一度取り外して単体アナログ電話機で試験を実施してください。

**ご不明な点は、販売担当者までご相談ください。**

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

Arcstar IP Voice (OCN&lt;B&gt;)かつ「光アクセス IP8(以上)」を利用する場合

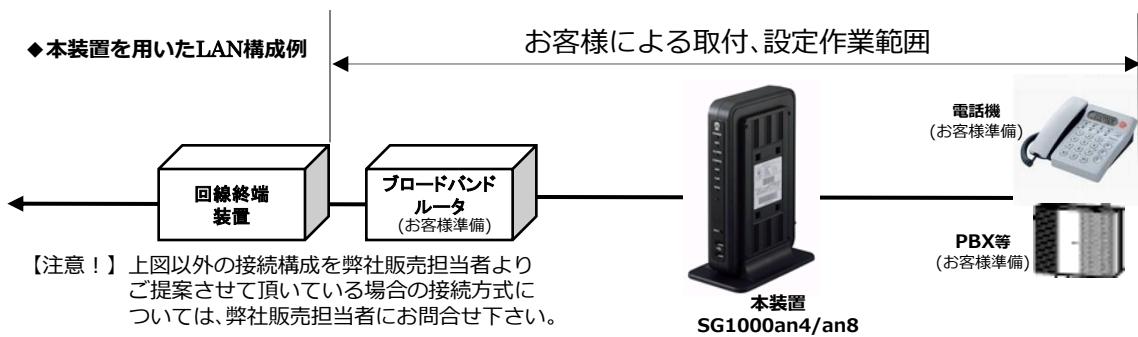


## § ご確認ください!!

このガイドは、Arcstar IP Voice(OCN<B>)かつ**光アクセス IP8(以上)**をご利用される場合のものです。

## 【取付作業等を始める前に】

本ガイドでは、VoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をお客様ご自身で取付・設置される際の手順をご案内しております。本紙に記載された手順通りに作業を行って頂くことにより、スムーズにIP電話のご利用を開始できます。



## 【STEP1】お客様準備のプロードバンドルータの設定を確認します

本装置を接続する前に、お客様が準備/設置されたプロードバンドルータ装置(以下、「お客様ルータ」)の設定内容をご確認ください。

## ①「Unnumbered」設定の確認

お客様ルータにおいて「Unnumbered」に設定してください。

## ②LAN側IPアドレスの確認

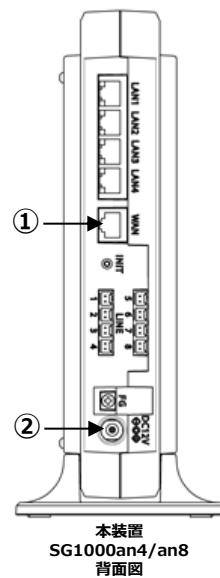
お客様ルータで「Unnumbered」を設定の際、LAN側IPアドレス(グローバルIPアドレス)については、お申込時にヒアリングシートへ記載した本装置の「デフォルトゲートウェイアドレス」を設定してください。

【注意！】お客様ルータの「LAN側IPアドレス」が、本装置には「デフォルトゲートウェイアドレス」として設定済です。詳細については、弊社販売担当者にお問合せください。

## ③PPPの接続確認

お客様ルータで、PPPoEセッションの接続が確立していることを確認してください。

※上記の各設定方法/確認方法については、お客様ルータの取扱説明書等により、ご確認ください。



## 【STEP2】本装置とお客様ルータを接続します

お客様ルータのLANポートと本装置のWANポートをRJ-45のストレートケーブルで接続します。(右図の①が本装置のWANポートです)

※まだ、本装置に電源ケーブルを差し込まないでください。

※配線を間違えると通信できませんので、右図をよくご確認の上、作業を進めてください。

【注意！】お客様ルータと本装置の間にハブ装置をはさむ等の構成の場合、接続方法については、別途、弊社販売担当者におたずねください。

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

Arcstar IP Voice (OCN&lt;B&gt;)かつ「光アクセス IP8(以上)」を利用する場合

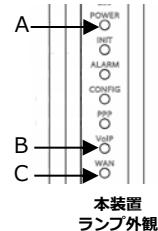
## 【STEP3】本装置の電源を入れます

- ①本装置の電源アダプタコード端子に電源アダプタのDCプラグを差し込んでください。

(前項右下図の②が本装置の電源アダプタコード端子です)

- ②本装置のランプ状態を確認します。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。※ランプ表示の詳細はP.36参照。

POWER点灯(緑) - ランプA  
VoIP点灯(緑) - ランプB  
WAN点灯(緑) - ランプC



## 困ったときは…

- POWERランプが点かない  
→電源ケーブルが抜けていませんか？
- WANランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→OCNに接続している他の機器と本装置のIPアドレスは重複していませんか？
- VoIPランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→お客様ルータのPPPoEセッションは接続されていますか？  
→OCNに接続している他の機器と本装置のIPアドレスは重複していませんか？

※上記を確認してもランプが正常に点灯しない場合、本装置の電源を入れなおしてください。

## 【STEP4】パスワードの値を変更します

- ①本装置のLANポートにパソコンを接続してください。

- ②パソコンを起動し、Webブラウザ(Internet Explorer等)を開いてください。

- ③次のアドレス(URL)、パスワードを入力し、設定画面にログインしてください。

- アドレス(URL) : http://192.168.189.1/
- ユーザID : ビジネスポータルでご確認ください。※
- パスワード(初期値) : ビジネスポータルでご確認ください。※

※ユーザID/パスワード(初期値)の確認方法は、&lt;注1&gt;に記載の通りです。

セキュリティ対策上、お客様にて必ずパスワードを初期値から任意の値に変更(<注2>を参照)してください。なお、変更後のパスワードは、お客様自身で適切な管理・運用をお願いいたします。

## &lt;注1&gt; ユーザID/パスワード確認方法

- 1 ビジネスポータルログイン後、「ご利用中のサービスから表示」から「Arstar IP Voice」を選択し、「ご契約・運用状況」をクリックして下さい。



次ページ

# 1. お客様による取付・設定の方法

ガイドNo.②

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP8(以上)」を利用する場合

# 1. お客様による取付・設定の方法

The screenshot shows two main sections of the Arcstar IP Voice service provider's web interface:

- Congratulations!** (おめでとうございます)
- 契約・運用状況一覧** (Contract Operation Status List): Shows a table with 383 entries. A row is highlighted with a yellow background and the number 2. The '契約番号' (Contract Number) column contains '2'. A pink arrow points to this row with the instruction: **2 設定をする本装置の“契約番号(N番号)”をクリックして下さい。**
- VoIP-GW情報** (VoIP-GW Information): Shows basic information about a VoIP-GW unit. A pink arrow points to the '詳細を表示' (Show Details) button with the instruction: **3 VoIP-GW情報の“詳細を表示”をクリックして下さい。**

2 設定をする本装置の“契約番号(N番号)”をクリックして下さい。



3 VoIP-GW情報の“詳細を表示”をクリックして下さい。

※複数表示される場合は、当該VoIP-GWの基本契約番号のVoIP-GW情報をクリックして下さい。



4 “ログイン初期情報”をクリックして下さい。

表示されるログインID/パスワード(初期値)を利用して、装置にログインをして下さい。

注) お客様にてパスワード変更した場合も、出荷時のパスワード(初期値)の表示となります。

This screenshot shows the 'Basic Contract Number: 050 (Rental VoIP-GW Information)' section. It includes a table for Ch数 (Channels) and a 'VoIP-GW Rental Options' section. A pink arrow points to the 'ログイン初期情報' (Login Initial Information) tab with the instruction: **4 “ログイン初期情報”をクリックして下さい。**

### <注2> パスワードの変更手順

This screenshot shows the configuration interface for the SG1000an4 device. It displays the 'User Account Setting' section. A pink arrow points to the '再起動' (Reboot) button with the instruction: **5 「再起動」をクリックして下さい。**

1 「基本設定」をクリックして下さい。



2 「ユーザ用アカウント設定」をクリックしてください。



3 「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認」を入力してください。

注) 半角英数字16文字以内の任意の値



4 「設定保存」をクリックしてください。



5 「再起動」をクリックしてください。

**【注意！】** パスワード設定時の再起動の間、通話中の呼は切断され、また、IP電話の発着信はできませんので、注意してください

**【注意！】** 設定画面において、お客様ご自身で設定できるインターネット接続等に関わる項目や具体的な入力方法については同梱の「取扱説明書」「機能詳細ガイド」(CD-ROM)を参照願います。(※オンライン設置時も同様)

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

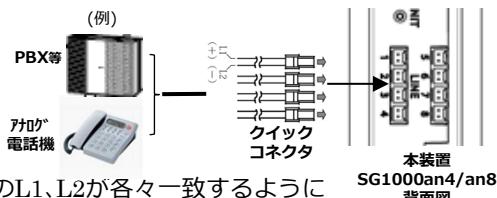
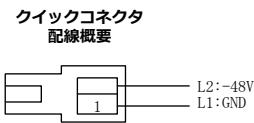
Arcstar IP Voice (OCN&lt;B&gt;)かつ「光アクセス IP8(以上)」を利用する場合

## 【STEP5】本装置に電話機等を接続し、開通試験を実施します

## 1) クイックコネクタの準備

※作業手順や注意点は「2. クイックコネクタ配線時の注意事項」を参照。

本装置と電話機やPBX装置等を接続するには、本装置に接続する側の電話線のコネクタ(RJ-11)を本装置のLINEポートの形状に合せるため、クイックコネクタに付替える必要があります。



本装置と電話機/PBX装置等は、ストレート接続(双方のL1、L2が各々一致するように接続)する必要があります。クイックコネクタに付替える際には、十分に注意願います。

## 2) 開通試験

以下の要領で開通試験を実施してください。

## ◆発信試験

- 1) 受話器をあげて、ツー音が聞こえることを確認してください。
- 2) ゆっくり「1111」をダイヤルしてください。
- 3) 電話がつながり、以下のガイダンスが流れます(通話料無料)。

『正常に接続されました・・・』

## ◆着信試験(通話料はお客様ご負担となります)

- 1) 携帯電話/固定電話等から、今回ご利用頂くIP電話番号(基本契約番号)をダイヤルします。
- 2) IP電話に着信しましたら受話器をあげて正常に会話ができるかを確認してください。

**【注意！】** お申込の際に「PBX接続で利用する」を選択した場合は、任意のLINEポートを利用できますが、「電話機接続で利用する」を選択した場合は、ヒアリングシートに記載されたLINEポートに着信します。  
詳細は弊社販売担当者におたずねください。

## 困ったときは…

- ・IP電話から発信できません...(受話器をあげてもツー音が聞こえない場合)
  - クイックコネクタの配線でL1/L2は正しく結線されていますか？クロス状態の時にはツー音が聞こえません。
  - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(STEP2から確認した後、STEP1から再度配線を見直してください)。
- ・IP電話に着信できません...
  - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(VoIPランプが点灯していますか？配線を見直してください)
- ・IP電話に着信したときに受話器をあげると、いきなり切断されてしまいます。
  - 電話機がナンバーディスプレイに非対応にも関わらず、本装置はナンバーディスプレイを「利用する」でお申込されていませんか？着信してしばらくたってから受話器をあげてみて、通話ができるのであれば、その可能性は高いと考えられます。
- ・音声がとぎれます...
  - お客様ルータのLANポートと本装置のWAN側ポートのインターフェースのアンマッチが考えられます。
  - お客様ルータのLANポートの設定と本装置のWAN側インターフェースをご確認ください。

※本装置をビジネスホン/PBX等に接続している場合は、必ず一度取り外して単体アナログ電話機で試験を実施してください。

ご不明な点は、販売担当者までご相談ください。

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)
- のいずれかを利用する場合

## § ご確認ください!!



このガイドは、以下のいずれかを利用して「PPPoE接続」(本装置のブロードバンドルータ機能利用)を行う場合のものです。

- Arcstar IP Voice(OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- Arcstar IP Voice(OCN<C>)

## 【取付作業等を始める前に】

本ガイドでは、VoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をお客様ご自身で取付・設置及び設定される際の手順をご案内しております。本紙に記載された手順通りに作業を行って頂くことにより、スムーズにIP電話のご利用を開始できます。

## ◆本装置を用いたLAN構成例



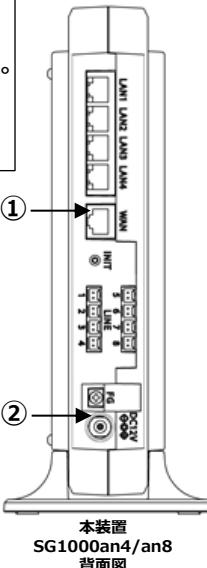
## 【STEP1】本装置と回線終端装置を接続します

回線終端装置(ONU、ADSLモデム等)と本装置のWANポートをRJ-45のストレートケーブルで接続します。(右図の①が本装置のWANポートです)

※まだ、本装置に電源ケーブルを差し込まないでください。

※配線を間違えると通信できませんので、右図をよくご確認の上、作業を進めて下さい。

【注意!】回線終端装置と本装置の間にハブ装置をはさむ等の構成の場合、接続方法については、別途、弊社販売担当者におたずねください。

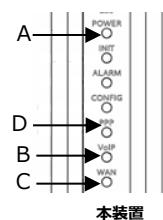


## 【STEP2】本装置の電源を入れます

①本装置の電源アダプタコード端子に電源アダプタのDCプラグを差し込んでください。  
(右図の②が本装置の電源アダプタコード端子です)

②本装置のランプ状態を確認します。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。※ランプ表示の詳細はP.25参照。

POWER点灯(緑)	-ランプA
WAN点灯(緑)	-ランプC



## 困ったときは…

- ・POWERランプが点かない  
→電源ケーブルが抜けていませんか？
- ・WANランプが点かない  
→接続方法が間違っていませんか？WANポートのケーブルはつながっていますか？
- ・VoIPランプが点かない  
→接続方法が間違っていませんか？WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→PPPoEランプが点いていますか(PPPoEセッションの接続確認)？

※上記を確認してもランプが正常に点灯しない場合、本装置の電源を入れなおしてください。

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>)
- のいずれかを利用する場合

### 【STEP3】本装置を設定します

①弊社からお知らせした「ご利用内容のご案内」(送付文書又はWebのプリントアウト)をお手元に準備してください。

②本装置のLANポートにパソコンを接続してください。

③パソコンを起動し、Webブラウザ(Internet Explorer等)を開いてください。

④次のアドレス(URL)、パスワードを入力し、設定画面にログインしてください。

・アドレス(URL) : http://192.168.189.1/

・ユーザID : ビジネスポートでご確認ください。\*

・パスワード(初期値) : ビジネスポートでご確認ください。\*

※ユーザID/パスワード(初期値)の確認方法は、<注1>に記載の通りです。

セキュリティ対策上、お客様にて必ずパスワードを初期値から任意の値に変更(<注2>を参照)してください。なお、変更後のパスワードは、お客様自身で適切な管理・運用をお願いいたします。

⑤設定画面のメニュー(左側表示)を以下の通り、遷移させてください。

ルータ設定> WANインターフェース設定>接続先(PPPoE)

⑥インターフェース名「PPP1」の[編集]をクリックし、表示される画面(次頁<注3>)上で、認証設定の「ユーザ名」「パスワード」の各欄に、「ご利用内容のご案内」で掲載された下記情報を入力してください。(<注2>参照)

・ユーザ名 : 「ご利用内容のご案内」記載の「認証ID」

・パスワード : 「ご利用内容のご案内」記載の「認証パスワード」

⑦「セッション」欄のラジオボタン[有効]にチェックを入れてください。

⑧入力後、[設定保存]ボタンをクリックし、下記のランプが緑点灯であることを確認してください。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。

・POWER点灯(緑) -ランプA

・PPP点灯(緑) -ランプD

・VoIP点灯(緑) -ランプB

・WAN点灯(緑) -ランプC

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または
- ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>) のいずれかを利用する場合

## &lt;注1&gt; ユーザID/パスワード確認方法

**1**   

Arcstar IP Voice

● 共通  
- ご契約・運用状況  
- 電話番号一覧  
- お申し込みの進捗  
- 故障・お問い合わせの状況

● 工事・故障情報  
- 工事・故障情報 (Arcstar IP Voice)

● オプション設定  
- 設定変更 (契約変更 (転送設定等))  
- 設定変更 (レンタルVoIP-GW)  
- 通話録

● 運用管理  
- アラート通知の停止/再開  
- 現回の監視ルート一覧  
- 総合診断ツール  
- 総合の状況を総合的に診断

● オンライン手続き  
- 新規のお申し込み・資料請求  
- サービスに関する各種お申し込みはこちら  
- 追加/変更のお申し込み込み  
- お問い合わせ、お申込み履歴

● オンライン手続き  
- (Arcstar IP Voice ひかり電話)  
- 新規のお申し込み・資料請求  
- サービスに関する各種お申し込みはこちら  
- 変更/廃止のお申し込み  
- 変更/廃止のお申込み履歴  
- 廃止のお申込み履歴

**1** ビジネスポートアルログイン後、「ご利用中のサービスから表示」から「Arcstar IP Voice」を選択し、「ご契約・運用状況」をクリックして下さい。



**2** 

Arcstar IP Voice ご契約・運用状況一覧

検索条件  
キーワードを入力してください

ご契約・運用状況一覧

合計 383 件 表示件数 10件

運用状況	ご契約番号	グループ番号	拠点	タイプ	ご契約番号メモ
2	N		02	Arcstar IP Voice (OCN)	

**2** 設定をする本装置の“契約番号(N番号)”をクリックして下さい。



**3** 

ご契約情報

Arcstar IP Voice 情報

音声グループID: 1000111京都千代田区内幸町 FQDN: None

基本契約番号一覧

No.	基本契約番号	Ch数	代表サービス	ダイヤルイン	VoIP-GW番号 (機種名)	電話番号情報	VoIP-GW情報	ご契約番号メモ
1	050	8	申込なし	申込なし	VoIP-BRI-Bch			

**3** VoIP-GW情報の“詳細を表示”をクリックして下さい。

※複数表示される場合は、当該VoIP-GWの基本契約番号のVoIP-GW情報をクリックして下さい。



**4** 

基本契約番号: 050 (レンタルVoIP-GW情報) 

Ch数	代表サービス	ダイヤルイン
8	申込なし	申込なし

VoIP-GWレンタル・オプション

申込項目	IP基本情報	IP電話情報	BRI	発着信番号	ログイン初期情報
VoIP-GW用 ログインID/パスワード (初期値)					4

ログインID(変更可)   
パスワード(初期値) 

**4** “ログイン初期情報”をクリックして下さい。

表示されるログインID/パスワード(初期値)を利用して、装置にログインをして下さい。

注) お客様にてパスワード変更した場合も、出荷時のパスワード(初期値)の表示となります。

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>)
- のいずれかを利用する場合

## &lt;注2&gt; パスワードの変更手順

SG1000an4  
GW装置  
バージョン  
再起動

ユーザ用アカウント設定

ユーザ用アカウントの設定を行います。

各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定保存」ボタンをクリックしてください。  
「設定保存」ボタンをクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。

ユーザ用アカウント設定

ログインID(表示のみ)  
新入りパスワード  
新入りパスワードの確認

設定保存 元に戻す

- 1 「基本設定」をクリックして下さい。
- 2 「ユーザ用アカウント設定」をクリックして下さい。
- 3 「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認」を入力してください。  
注) 半角英数字16文字以内の任意の値
- 4 「設定保存」をクリックしてください。
- 5 「再起動」をクリックしてください。

**【注意！】** パスワード設定時の再起動の間、通話中の呼は切断され、また、IP電話の発着信はできませんので、注意してください

**【注意！】** 設定画面において、お客様ご自身で設定できるインターネット接続等に関わる項目や具体的な入力方法については、同梱の「取扱説明書」「機能詳細ガイド」(CD-ROM)を参照願います。(※オンラインサイト設置時も同様)

## &lt;注3&gt; 接続先(PPPoE)の設定

SG1000an4  
GW装置  
バージョン  
再起動

接続先(PPPoE)

PPPoEセッションの設定を行います。

各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定保存」ボタンをクリックしてください。  
「設定保存」ボタンをクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。

設定保存 元に戻す

PPPoEセッション1

[基本設定]	
インターフェース名	PPP1
セッション	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
接続モード	<input checked="" type="radio"/> 常時接続 <input type="radio"/> 要求時接続

[認証設定]

ユーザー名	1
パスワード	[IPV4アドレス設定]
アドレス指定方法	自動

- 1 以下を入力してください。
  - ◆ 入力項目
    - ・認証ID(→認証ユーザ名)
    - ・認証パスワード
  - ※「ご利用内容のご案内」をご準備、ご確認ください。
- 2 「セッション」欄のラジオボタン「有効」をチェックしてください。
- 3 ①② の入力設定完了後、「設定保存」をクリックして下さい。

**【注意！】** 再起動の間、通話中の呼は切断され、また、IP電話の発着信はできませんので、注意してください

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

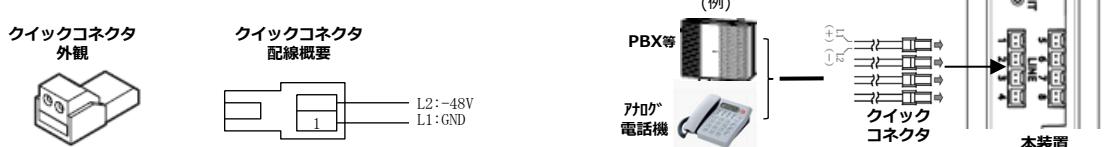
- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>)
- のいずれかを利用する場合

### 【STEP4】本装置に電話機等を接続し、開通試験を実施します

#### 1) クイックコネクタの準備

※作業手順や注意点は「2. クイックコネクタ配線時の注意事項」を参照。

本装置と電話機やPBX装置等を接続するには、本装置に接続する側の電話線のコネクタ(RJ-11)を本装置のLINEポートの形状に合わせるため、クイックコネクタに付替える必要があります。



本装置と電話機/PBX装置等は、ストレート接続(双方のL1、L2が各々一致するよう接続)する必要があります。クイックコネクタに付替える際には、十分に注意願います。

#### 2) 開通試験

以下の要領で開通試験を実施してください。

##### ◆発信試験

- 1) 受話器をあげて、ツー音が聞こえることを確認してください。
- 2) ゆっくり「1111」をダイヤルしてください。
- 3) 電話がつながり、以下のガイダンスが流れます(通話料無料)。  
『正常に接続されました・・・』

##### ◆着信試験(通話料はお客様ご負担となります)

- 1) 携帯電話/固定電話等から、今回ご利用頂くIP電話番号(基本契約番号)をダイヤルします。
- 2) IP電話に着信しましたら受話器をあげて正常に会話ができる事を確認してください。

**【注意!】** お申込の際に「PBX接続で利用する」を選択した場合は、任意のLINEポートを利用できますが、「電話機接続で利用する」を選択した場合は、ヒアリングシートに記載されたLINEポートに着信します。  
詳細は弊社販売担当者におたずねください。

#### 困ったときは…

- IP電話から発信できません…(受話機をあげてもツー音が聞こえない場合)
    - クイックコネクタの配線でL1/L2は正しく結線されていますか？クロス状態の時にはツー音が聞こえません。
    - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(STEP2から確認した後、STEP1から再度配線を見直してください)。
  - IP電話に着信できません…
    - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(VoIPランプが点灯していますか？配線を見直してください)
  - IP電話に着信したときに受話器をあげると、いきなり切断されてしまいます。
    - 電話機がナンバーディスプレイに非対応にも関わらず、本装置はナンバーディスプレイを「利用する」でお申込されていますか？  
着信してしばらくたってから受話器をあげてみて、通話ができるのであれば、その可能性は高いと考えられます。
- ※本装置をビジネスホン/PBX等に接続している場合は、必ず一度取り外して単体アナログ電話機で試験を実施してください。

ご不明な点は、販売担当者までご相談ください。

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- または
- ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

## § ご確認ください!!

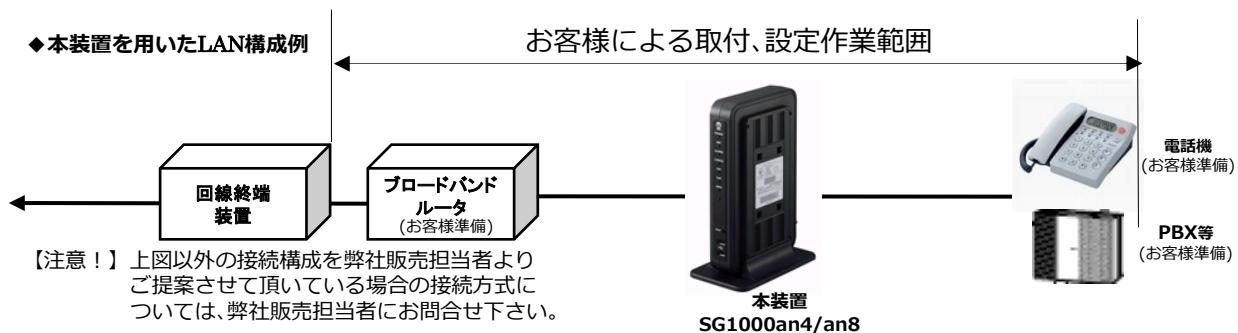


このガイドは、以下のいずれかを利用して、「UPnP接続」を行う場合のものです。

- Arcstar IP Voice(OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- Arcstar IP Voice(OCN<C>)

## 【取付作業等を始める前に】

本ガイドでは、VoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をお客様ご自身で取付・設置される際の手順をご案内しております。本紙に記載された手順通りに作業を行って頂くことにより、スムーズにIP電話のご利用を開始できます。



## 【STEP1】お客様準備のブロードバンドルータの設定を確認します

本装置を接続する前に、お客様が準備/設置されたブロードバンドルータ装置(以下、「お客様ルータ」)の設定内容をご確認ください。

## ①UPnP(IGD)機能の設定

お客様ルータにおいて「UPnP(IGD)」をONに設定してください。

## ②LAN側IPアドレスの確認

お客様ルータのLAN側で利用するIPアドレス(DHCPサーバで割振られる場合は払い出されるIPアドレス)は、下記のIPアドレスと重複しないように設定願います。

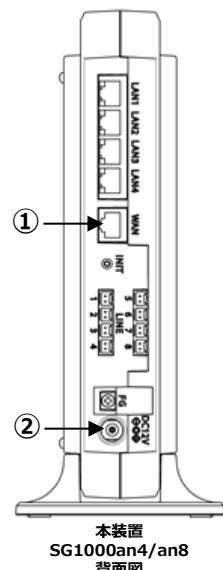
<本装置のLAN側IPアドレス> 192.168.189.1

【注意！】お客様がヒアリングシートで上記とは別のIPアドレスを指定された場合は、指定されたIPアドレスが「LAN側IPアドレス」となりますので、設定時にご注意願います。

## ③PPPの接続確認

お客様ルータで、PPPoEセッションの接続が確立していることを確認してください。

※上記の各設定方法/確認方法については、お客様ルータの取扱説明書等により、ご確認ください。



## 【STEP2】本装置とお客様ルータを接続します

お客様ルータのLANポートと本装置のWANポートをRJ-45のストレートケーブルで接続します。(右図の①が本装置のWANポートです)

※まだ、本装置に電源ケーブルを差し込まないでください。

※配線を間違えると通信できませんので、右図をよくご確認の上、作業を進めてください。

【注意！】お客様ルータと本装置の間にハブ装置をはさむ等の構成の場合、接続方法については、別途、弊社販売担当者におたずねください。

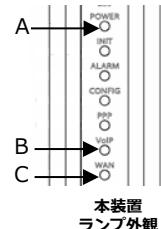
## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または
- ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

## 【STEP3】本装置の電源を入れます

- ①本装置の電源アダプタコード端子に電源アダプタのDCプラグを差し込んでください。  
**(前項右下図の②が本装置の電源アダプタコード端子です)**
- ②本装置のランプ状態を確認します。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。 **※ランプ表示の詳細はP.36参照。**

POWER点灯(緑) - ランプA  
VoIP点灯(緑) - ランプB  
WAN点灯(緑) - ランプC



## 困ったときは…

- POWERランプが点かない  
→電源ケーブルが抜けていませんか？
- WANランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→お客様ルータのUPnP設定はIGDで利用する設定になっていますか？
- VoIPランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→お客様ルータのPPPoEセッションは接続されていますか？  
→お客様ルータのUPnP設定はIGDで利用する設定になっていますか？

※上記を確認してもランプが正常に点灯しない場合、本装置の電源を入れなおしてください。

## 【STEP4】パスワードの値を変更します

- ①本装置のLANポートにパソコンを接続してください。
- ②パソコンを起動し、Webブラウザ(Internet Explorer等)を開いてください。
- ③次のアドレス(URL)、パスワードを入力し、設定画面にログインしてください。
  - ・アドレス(URL) : <http://192.168.189.1/>
  - ・ユーザID : ビジネスポートでご確認ください。※
  - ・パスワード(初期値) : ビジネスポートでご確認ください。※

※ユーザID/パスワード(初期値)の確認方法は、<注1>に記載の通りです。

セキュリティ対策上、お客様にて必ずパスワードを初期値から任意の値に変更(<注2>を参照)してください。なお、変更後のパスワードは、お客様自身で適切な管理・運用をお願いいたします。

## &lt;注1&gt; ユーザID/パスワード確認方法

1 ご利用中のサービスから表示

Arcstar IP Voice

1 オンライン手続き

新規のお申し込み・資料請求

1 ビジネスポートログイン後、「ご利用中のサービスから表示」から「Arcstar IP Voice」を選択し、「ご契約・運用状況」をクリックして下さい。



次ページ

## 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」または
- ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

ご契約中のサービスから選ぶ 選択操作・登録用 ポータル管理者向け

Arcstar IP Voice ご契約・運用状況一覧

取り込みキーワード (※会員または角入ベースで複数条件で複数条件での検索が可能です)

サービス Arcstar IP Voice

ご契約・運用状況一覧

合計 383 件 表示件数 10件

適用状況 2 N グループ番号 02 タイプ Arcstar IP Voice (OCN)

この一覧をCSV形式でダウンロード

2 設定をする本装置の“契約番号(N番号)”をクリックして下さい。



3 VoIP-GW情報の“詳細を表示”をクリックして下さい。

※複数表示される場合は、当該VoIP-GWの基本契約番号のVoIP-GW情報をクリックして下さい。



4 “ログイン初期情報”をクリックして下さい。

表示されるログインID//パスワード(初期値)を利用して、装置にログインをして下さい。

注) お客様にてパスワード変更した場合も、出荷時のパスワード(初期値)の表示となります。

## &lt;注2&gt; パスワードの変更手順

SG1000an4  
GW装置

バージョン  
再起動

1 基本設定

2 ユーザ用アカウント設定

3 ログインID(表示のみ)

4 新しいパスワード

5 新しいパスワードの確認

6 設定保存

7 元に戻す

1 「基本設定」をクリックして下さい。



2 「ユーザ用アカウント設定」をクリックして下さい。



3 「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認」を入力してください。

注) 半角英数字16文字以内の任意の値



4 「設定保存」をクリックして下さい。



5 「再起動」をクリックして下さい。



【注意！】 パスワード設定時の再起動の間、通話中の呼は切断され、また、IP電話の発着信はできませんので、注意して下さい

【注意！】 設定画面において、お客様ご自身で設定できるインターネット接続等に関わる項目や具体的な入力方法については、同梱の「取扱説明書」「機能詳細ガイド」(CD-ROM)を参照願います。(※オンライン設置時も同様)

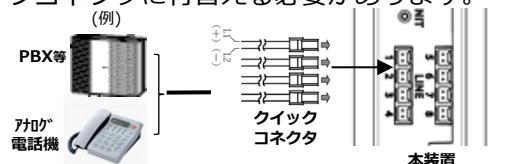
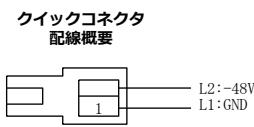
# 【(IV型) SG1000an4 / (V型) SG1000an8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または
- ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

## 【STEP5】本装置に電話機等を接続し、開通試験を実施します

### 1) クイックコネクタの準備

本装置と電話機やPBX装置等を接続する場合、本装置は接続する側の電話線の正極側(右端子1)を本装置のLINEポートの形状に合せるため、クイックコネクタに付替える必要があります。



本装置と電話機/PBX装置等は、ストレート接続(双方のL1、L2が各々一致するように接続)する必要があります。クイックコネクタに付替える際には、十分に注意願います。

### 2) 開通試験

以下の要領で開通試験を実施してください。

#### ◆発信試験

- 1)受話器をあげて、ツー音が聞こえることを確認してください。
- 2)ゆっくり「1111」をダイヤルしてください。
- 3)電話がつながり、以下のガイダンスが流れます(通話料無料)。  
『正常に接続されました・・・』

#### ◆着信試験(通話料はお客様ご負担となります)

- 1)携帯電話/固定電話等から、今回ご利用頂くIP電話番号(基本契約番号)をダイヤルします。
- 2)IP電話に着信しましたら受話器をあげて正常に会話ができる事を確認してください。

**【注意！】**お申込の際に「PBX接続で利用する」を選択した場合は、任意のLINEポートを利用できますが、「電話機接続で利用する」を選択した場合は、ヒアリングシートに記載されたLINEポートに着信します。  
詳細は弊社販売担当者におたずねください。

#### 困ったときは…

- ・IP電話から発信できません...(受話機をあげてもツー音が聞こえない場合)
  - クイックコネクタの配線でL1/L2は正しく結線されていますか？クロス状態の時にはツー音が聞こえません。
  - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(STEP2から確認した後、STEP1から再度配線を見直してください)
- ・IP電話に着信できません...
  - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(VoIPランプが点灯していますか？配線を見直してください)
- ・IP電話に着信したときに受話器をあげると、いきなり切断されてしまいます。
  - 電話機がナンバーディスプレイに非対応にも関わらず、本装置はナンバーディスプレイを「利用する」でお申込されていませんか？着信してしばらくたってから受話器をあげてみて、通話ができるのであれば、その可能性は高いと考えられます。
- ・音声がとぎれます...
  - お客様ルータのLANポートと本装置のWAN側ポートのインターフェースのアンマッチが考えられます。
  - お客様ルータのLANポートの設定と本装置のWAN側インターフェースをご確認ください。

※本装置をビジネスホン/PBX等に接続している場合は、必ず一度取り外して単体アナログ電話機で試験を実施してください。

ご不明な点は、販売担当者までご相談ください。

# Memo

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

Arcstar IP Voice(Universal One)、Arcstar IP Voiceアクセスセット  
のいずれかを利用する場合

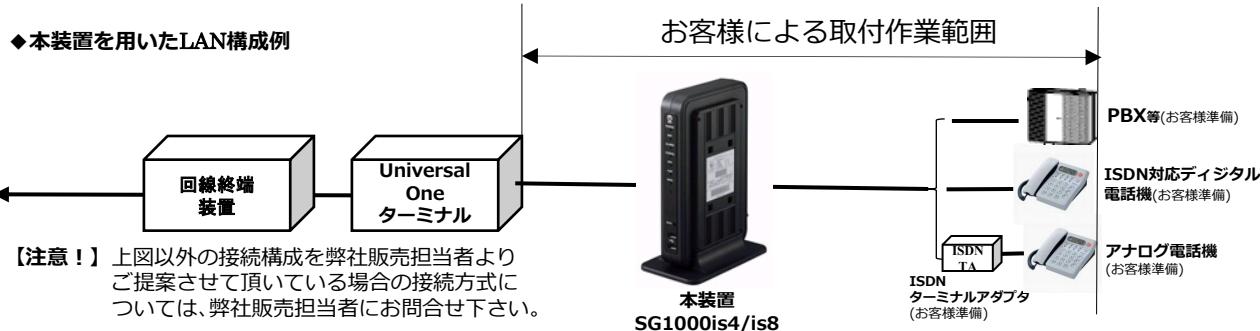
## § ご確認ください!!



このガイドは、  
Arcstar IP Voice(Universal One)、Arcstar IP Voiceアクセスセット  
のいずれかをご利用される場合のものです。

## 【取付作業等を始める前に】

本ガイドでは、VoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をお客様ご自身で取付・設置される際の手順をご案内しております。本紙に記載された手順通りに作業を行って頂くことにより、スムーズにIP電話のご利用を開始できます。



## 【STEP1】 本装置とUniversal Oneターミナルを接続します

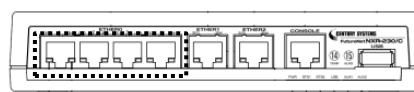
Universal OneターミナルのLANポートと本装置のWANポートをRJ-45のストレートケーブルで接続します。(右図①が本装置のWANポートで、下図点線枠内がUniversal OneターミナルのLANポートです)

※まだ、本装置に電源ケーブルを差し込まないでください。

※配線を間違えると通信ができませんので、図を良くご確認の上、作業を進めてください。

## 【注意！】

Universal Oneターミナルと本装置の間にハブやルータをはさむ等の構成の場合、接続方法については、別途弊社販売担当者におたずねください。



Universal Oneターミナル I 型背面

## 【STEP2】 本装置の電源を入れます

①本装置の電源アダプタコード端子に電源アダプタのDCプラグを差し込んでください。

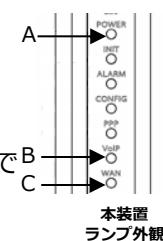
(右図②が本装置の電源アダプタコード端子です)

②本装置のランプ状態を確認します。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。※ランプ表示の詳細はP.25参照。

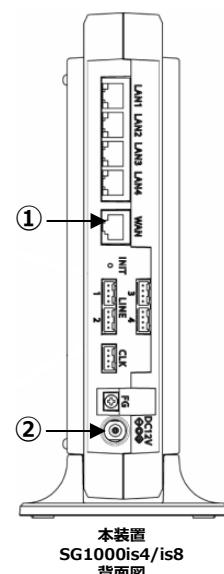
POWER点灯(緑) -ランプA

VoIP点灯(緑) -ランプB

WAN点灯(緑) -ランプC



本装置 ランプ外観



本装置 SG1000is4/is8 背面図

## 困ったときは…

- POWERランプが点かない  
→電源ケーブルが抜けていませんか？
- WANランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→Universal Oneは開通していますか？
- VoIPランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→Universal Oneは開通していますか？

※上記を確認してもランプが正常に点灯しない場合、本装置の電源を入れなおしてください。

# 1. お客様による取付・設定の方法

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

Arcstar IP Voice(Universal One)、Arcstar IP Voiceアクセスセット  
のいずれかを利用する場合

### 【STEP3】本装置に電話機等を接続し、開通試験を実施します

#### 1) クイックコネクタの準備

※作業手順や注意点は「2. クイックコネクタ配線時の注意事項」を参照。

本装置とお客様準備の装置(PBX、デジタル電話機、又はISDNターミナルアダプタ)を接続するには、本装置に接続する側の電話線のコネクタ(RJ-45)を本装置のLINEポートの形状に合せるため、クイックコネクタに付替える必要があります。



本装置とお客様準備の装置は、ストレート接続(双方のL1～L4が各々一致するように接続)する必要があります。クイックコネクタに付替える際には、十分に注意願います。

#### 2) 開通試験

以下の要領で開通試験を実施してください。

##### ◆発信試験

- 1) 受話器をあげて、ツー音が聞こえることを確認してください。
- 2) ゆっくり「1111」をダイヤルしてください。
- 3) 電話がつながり、以下のガイダンスが流れます(通話料無料)。  
『正常に接続されました・・・』

##### ◆着信試験(通話料はお客様ご負担となります)

- 1) 携帯電話/固定電話等から、今回ご利用頂くIP電話番号(基本契約番号)をダイヤルします。
- 2) IP電話に着信しましたら受話器をあげて正常に会話ができる事を確認してください。

#### 困ったときは…

- ・ IP電話から発信できません...(受話機をあげてもツー音が聞こえない場合)
  - クイックコネクタの配線でL1～L4は正しく結線されていますか？クロス状態の時にはツー音が聞こえません。
  - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(STEP2から確認した後、STEP1から再度配線を見直してください)
  - ISDNターミナルアダプタ(又はISDN対応デジタル電話機)の電源はONになっていますか？  
本装置との接続、利用機器の設定を再度確認してください。
- ・ IP電話に着信できません...
  - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(VoIPランプが点灯していますか？配線を見直してください)
- ・ IP電話に着信したときに受話器をあげると、いきなり切断されてしまいます。
  - 電話機がナンバーディスプレイに非対応にも関わらず、本装置はナンバーディスプレイを「利用する」でお申込されていませんか？  
着信してしばらくたってから受話器をあげてみて、通話ができるのであれば、その可能性は高いと考えられます。
- ・ 音声がとぎれます...
  - Universal OneターミナルのLANポートと本装置のWAN側ポートのインターフェースのアンマッチが考えられます。  
Universal OneターミナルのLANポートの設定と本装置のWAN側インターフェースをご確認ください。

※本装置をビジネスホン/PBX等に接続している場合は、必ず一度取り外して、単体アナログ電話機(ISDNターミナルアダプタも接続要)  
またはデジタル電話機を直接接続して、試験を実施してください。

**ご不明な点は、販売担当者までご相談ください。**

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

Arcstar IP Voice (OCN&lt;B&gt;)かつ「光アクセス IP8(以上)」を利用する場合



## § ご確認ください!!

このガイドは、Arcstar IP Voice(OCN<B>)かつ光アクセス IP8(以上)をご利用される場合のものです。

## 【取付作業等を始める前に】

本ガイドでは、VoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をお客様ご自身で取付・設置される際の手順をご案内しております。本紙に記載された手順通りに作業を行って頂くことにより、スムーズにIP電話のご利用を開始できます。



## 【STEP1】お客様準備のブロードバンドルータの設定を確認します

本装置を接続する前に、お客様が準備/設置されたブロードバンドルータ装置(以下、「お客様ルータ」)の設定内容をご確認ください。

## ①「Unnumbered」設定の確認

お客様ルータにおいて「Unnumbered」に設定してください。

## ②LAN側IPアドレスの確認

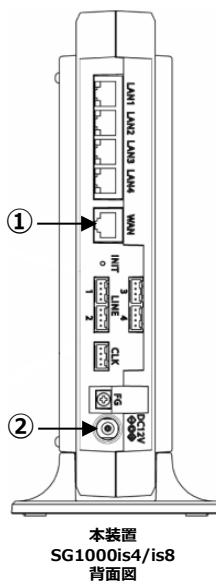
お客様ルータで「Unnumbered」を設定の際、LAN側IPアドレス(グローバルIPアドレス)については、お申込時にヒアリングシートへ記載した本装置の「デフォルトゲートウェイアドレス」を設定してください。

【注意！】お客様ルータの「LAN側IPアドレス」が、本装置には「デフォルトゲートウェイアドレス」として設定済です。詳細については、弊社販売担当者にお問合せください。

## ③PPPの接続確認

お客様ルータで、PPPoEセッションの接続が確立していることを確認してください。

\*上記の各設定方法/確認方法については、お客様ルータの取扱説明書等により、ご確認ください。



## 【STEP2】本装置とお客様ルータを接続します

お客様ルータのLANポートと本装置のWANポートをRJ-45のストレートケーブルで接続します。(右図の①が本装置のWANポートです)

\*まだ、本装置に電源ケーブルを差し込まないでください。

\*配線を間違えると通信できませんので、右図をよくご確認の上、作業を進めてください。

【注意！】お客様ルータと本装置の間にハブ装置をはさむ等の構成の場合、接続方法については、別途、弊社販売担当者におたずねください。

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

Arcstar IP Voice (OCN&lt;B&gt;)かつ「光アクセス IP8(以上)」を利用する場合

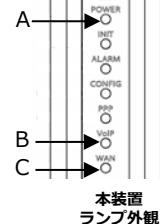
## 【STEP3】本装置の電源を入れます

①本装置の電源アダプタコード端子に電源アダプタのDCプラグを差し込んでください。

(前項右下図の②が本装置の電源アダプタコード端子です)

②本装置のランプ状態を確認します。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。※ランプ表示の詳細はP.36参照。

- POWER点灯(緑) - ランプA  
 VoIP点灯(緑) - ランプB  
 WAN点灯(緑) - ランプC



## 困ったときは…

- POWERランプが点かない  
→電源ケーブルが抜けていませんか？
- WANランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→OCNに接続している他の機器と本装置のIPアドレスは重複していませんか？
- VoIPランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→お客様ルータのPPPoEセッションは接続されていますか？  
→OCNに接続している他の機器と本装置のIPアドレスは重複していませんか？

※上記を確認してもランプが正常に点灯しない場合、本装置の電源を入れなおしてください。

## 【STEP4】パスワードの値を変更します

①本装置のLANポートにパソコンを接続してください。

②パソコンを起動し、Webブラウザ(Internet Explorer等)を開いてください。

③次のアドレス(URL)、パスワードを入力し、設定画面にログインしてください。

- アドレス(URL) : http://192.168.189.1/
- ユーザID : ビジネスポートでご確認ください。<sup>\*</sup>
- パスワード(初期値) : ビジネスポートでご確認ください。<sup>\*</sup>

※ユーザID/パスワード(初期値)の確認方法は、&lt;注1&gt;に記載の通りです。

セキュリティ対策上、お客様にて必ずパスワードを初期値から任意の値に変更(&lt;注2&gt;を参照)してください。なお、変更後のパスワードは、お客様自身で適切な管理・運用をお願いいたします。

## &lt;注1&gt; ユーザID/パスワード確認方法

1 ご契約中のサービスから選択

Arcstar IP Voice

① 共連

ご契約・運用状況

② 運用管理

③ オンライン手続き

④ オプション設定

⑤ オンライン手続き (Arcstar IP Voice ひかり電話)

- 1 ビジネスポートログイン後、「ご利用中のサービスから表示」から「Arcstar IP Voice」を選択し、「ご契約・運用状況」をクリックして下さい。



次ページ

# 1. お客様による取付・設定の方法

ガイドNo.⑤

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP8(以上)」を利用する場合

### 1. お客様による取付・設定の方法

This screenshot shows the 'Arcstar IP Voice ご契約・運用状況一覧' (Contract Status Search) page. It displays a search form with a keyword input field and a search button. Below the search form, there is a table header with columns: '運用状況' (Status), 'ご契約番号' (Contract No.), 'グループ番号' (Group No.), '拠点' (Site), 'タイプ' (Type), and 'ご契約番号メモ' (Contract No. Memo). A green box highlights the '2' in the '運用状況' column of the second row, which corresponds to the 'Arcstar IP Voice (OCN)' entry.

- 2 設定をする本装置の“契約番号(N番号)”をクリックして下さい。

This screenshot shows the 'Arcstar IP Voice 情報' (Information) page. It displays basic information such as '吉澤グループID' (Kiyose Group ID), '設置場所' (Installation location), and 'FQDN'. Below this, there is a table titled '基本契約番号一覧' (List of Basic Contract Numbers) with columns: 'No.', '基本契約番号' (Basic Contract No.), 'Ch数' (Number of Channels), '代表サービス' (Representative Service), 'ダイヤルイン' (Dial-in), 'VoIP-GW端末 (機器名)' (VoIP-GW Device (Name)), '電話番号情報' (Phone Number Information), 'VoIP-GW情報' (VoIP-GW Information), and 'ご契約番号メモ' (Contract No. Memo). A green box highlights the '2' in the '基本契約番号' column of the first row, which corresponds to '050'.

- 3 VoIP-GW情報の“詳細を表示”をクリックして下さい。

※複数表示される場合は、当該VoIP-GWの基本契約番号のVoIP-GW情報をクリックして下さい。

This screenshot shows the 'VoIP-GWレンタル・オプション' (VoIP-GW Rental Options) page for contract number 050. It displays configuration options like 'Ch数' (Number of Channels) and '代表サービス' (Representative Service). Below this, there is a table with columns: '申込項目' (Application Item), 'IP基本情報' (IP Basic Information), 'IP電話情報' (IP Phone Information), 'BRI' (BRI), '発着信番号表示' (Call Number Display), and 'ログイン初期情報' (Login Initial Information). A green box highlights the 'ログイン初期情報' tab. In the 'ログインID(変更不可)' (Login ID (Changeable)) and 'パスワード(初期値)' (Password (Initial Value)) fields, there are red boxes indicating where to enter new information.

- 4 “ログイン初期情報”をクリックして下さい。

表示されるログインID/パスワード(初期値)を利用して、装置にログインをして下さい。

注) お客様にてパスワード変更した場合も、出荷時のパスワード(初期値)の表示となります。

### <注2> パスワードの変更手順

This screenshot shows the 'SG1000an4' device configuration interface. It displays a navigation menu with items: 'SG1000an4', 'GW装置', 'バージョン', '再起動', 'トップページへ戻る', '基本設定', 'ユーザ用アカウント設定', '時刻設定', 'ルータ設定', '保守', and 'リポート表示'. A green box highlights the '再起動' button. Below the menu, there is a section titled 'ユーザ用アカウント設定' (User Account Setting) with a sub-section 'ログインID(表示のみ)' (Login ID (Display Only)). It contains two password input fields: '新しいパスワード' (New Password) and '新しいパスワードの確認' (Confirm New Password). A green box highlights the '新しいパスワード' field. At the bottom, there are buttons for '設定保存' (Save Settings) and '元に戻す' (Return to Previous). A green box highlights the '設定保存' button.

- 1 「基本設定」をクリックして下さい。



- 2 「ユーザ用アカウント設定」をクリックして下さい。



- 3 「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認」を入力してください。

注) 半角英数字16文字以内の任意の値



- 4 「設定保存」をクリックしてください。



- 5 「再起動」をクリックしてください。

【注意！】パスワード設定時の再起動の間、通話中の呼は切断され、また、IP電話の発着信はできませんので、注意してください

【注意！】設定画面において、お客様ご自身で設定できるインターネット接続等に関わる項目や具体的な入力方法については、同梱の「取扱説明書」「機能詳細ガイド」(CD-ROM)を参照願います。(※オンラインサイト設置時も同様)

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

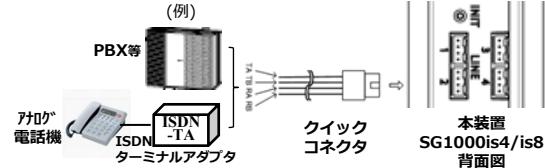
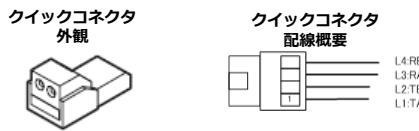
Arcstar IP Voice (OCN&lt;B&gt;)かつ「光アクセス IP8(以上)」を利用する場合

## 【STEP5】本装置に電話機等を接続し、開通試験を実施します

## 1) クイックコネクタの準備

※作業手順や注意点は「2. クイックコネクタ配線時の注意事項」を参照。

本装置とお客様準備の装置(PBX、デジタル電話機、又はISDNターミナルアダプタ)を接続するには、本装置に接続する側の電話線のコネクタ(RJ-45)を本装置のLINEポートの形状に合せるため、クイックコネクタに付替える必要があります。



本装置とお客様準備の装置は、ストレート接続(双方のL1~L4が各々一致するように接続)する必要があります。クイックコネクタに付替える際には、十分に注意願います。

## 2) 開通試験

以下の要領で開通試験を実施してください。

## ◆ 発信試験

- 1) 受話器をあげて、ツー音が聞こえることを確認してください。
- 2) ゆっくり「1111」をダイヤルしてください。
- 3) 電話がつながり、以下のガイダンスが流れます(通話料無料)。  
『正常に接続されました・・・』

## ◆ 着信試験(通話料はお客様ご負担となります)

- 1) 携帯電話/固定電話等から、今回ご利用頂くIP電話番号(基本契約番号)をダイヤルします。
- 2) IP電話に着信しましたら受話器をあげて正常に会話ができるることを確認してください。

## 困ったときは…

- ・ IP電話から発信できません...(受話機をあげてもツー音が聞こえない場合)
    - クイックコネクタの配線でL1~L4は正しく結線されていますか？クロス状態の時にはツー音が聞こえません。
    - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(STEP2から確認した後、STEP1から再度配線を見直してください)
  - ・ IP電話に着信できません...
    - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(VoIPランプが点灯していますか？配線を見直してください)
  - ・ 音声がとぎれます...
    - お客様ルータのLANポートと本装置のWAN側ポートのインターフェースのアンマッチが考えられます。
    - お客様ルータのLANポートの設定と本装置のWAN側インターフェースをご確認ください。
- ※本装置をビジネスホン/PBX等に接続している場合は、必ず一度取り外して、単体アナログ電話機(ISDNターミナルアダプタも接続要)またはデジタル電話機を直接接続して、試験を実施してください。

ご不明な点は、販売担当者までご相談ください。

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- または
- ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

## § ご確認ください!!



このガイドは、以下のいずれかを利用して「PPPoE接続」(本装置のブロードバンドルータ機能利用)を行う場合のものです。

- Arcstar IP Voice(OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- Arcstar IP Voice(OCN<C>)

## 【取付作業等を始める前に】

本ガイドでは、VoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をお客様ご自身で取付・設置及び設定される際の手順をご案内しております。本紙に記載された手順通りに作業を行って頂くことにより、スムーズにIP電話のご利用を開始できます。

## ◆本装置を用いたLAN構成例



**【注意!】** 上図以外の接続構成を弊社販売担当者よりご提案させて頂いている場合の接続方式について、弊社販売担当者にお問い合わせ下さい。

## 【STEP1】本装置と回線終端装置を接続します

回線終端装置(ONU、ADSLモデム等)と本装置のWANポートをRJ-45のストレートケーブルで接続します。(右図の①が本装置のWANポートです)

※まだ、本装置に電源ケーブルを差し込まないでください。

※配線を間違えると通信できませんので、右図をよくご確認の上、作業を進めて下さい。

**【注意!】** 回線終端装置と本装置の間にハブ装置をはさむ等の構成の場合、接続方法については、別途、弊社販売担当者におたずねください。

## 【STEP2】本装置の電源を入れます

①本装置の電源アダプタコード端子に電源アダプタのDCプラグを差し込んでください。  
(右図の②が本装置の電源アダプタコード端子です)

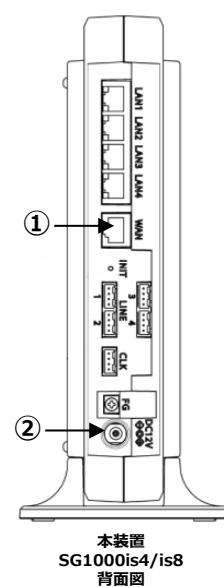
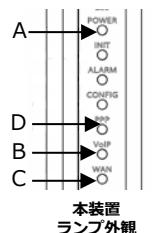
②本装置のランプ状態を確認します。なお、各ランプが点灯するまで、90秒程かかります。

※ランプ表示の詳細はP.25参照。

POWER点灯(緑)	-ランプA
WAN点灯(緑)	-ランプC

## 困ったときは…

- ・POWERランプが点かない  
→電源ケーブルが抜けていませんか？
  - ・WANランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？
  - ・VoIPランプが点かない  
→接続方法が間違っていますか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？
  - ・お客様ルータのPPPoEセッションは接続されていますか？
- ※上記を確認してもランプが正常に点灯しない場合、本装置の電源を入れなおしてください。



## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- または ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

## 【STEP3】本装置を設定します

①弊社からお知らせした「ご利用内容のご案内」(送付文書又はWebのプリントアウト)をお手元に準備してください。

②本装置のLANポートにパソコンを接続してください。

③パソコンを起動し、Webブラウザ(Internet Explorer等)を開いてください。

④次のアドレス(URL)、パスワードを入力し、設定画面にログインしてください。

・アドレス(URL) : http://192.168.189.1/

・ユーザID : ビジネスポートでご確認ください。\*

・パスワード(初期値) : ビジネスポートでご確認ください。\*

**※ユーザID/パスワード(初期値)の確認方法は、<注1>に記載の通りです。**

セキュリティ対策上、お客様にて必ずパスワードを初期値から任意の値に変更(<注2>を参照)してください。なお、変更後のパスワードは、お客様自身で適切な管理・運用をお願いいたします。

⑤設定画面のメニュー(左側表示)を以下の通り、遷移させてください。

ルータ設定>WANインターフェース設定>接続先(PPPoE)

⑥インターフェース名「PPP1」の[編集]をクリックし、表示される画面(次頁<注3>)上で、認証設定の「ユーザ名」「パスワード」の各欄に、「ご利用内容のご案内」で掲載された下記情報を入力してください。(<注2>参照)

・ユーザ名 : 「ご利用内容のご案内」記載の「認証ID」

・パスワード : 「ご利用内容のご案内」記載の「認証パスワード」

⑦「セッション」欄のラジオボタン[有効]にチェックを入れてください。

⑧入力後、[設定保存]ボタンをクリックし、下記のランプが緑点灯であることを確認してください。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。

・POWER点灯(緑) -ランプA

・PPPoE点灯(緑) -ランプD

・VoIP点灯(緑) -ランプB

・WAN点灯(緑) -ランプC

## &lt;注1&gt; ユーザID/パスワード確認方法

1 ご契約中のサービスから選択

Arcstar IP Voice

① 共通

ご契約・運用状況

新規のお申込み・資料請求

サービスに関する各種お申込みはこちら

追加変更のお申込み

登録情報

ダイヤルイン番号の追加、削除

付加機能の変更などはこちら

② オプション設定

設定変更・契約変更（転設設定等）

登録情報

転設設定等、各種設定はこちら

ひかり電話（東日本）

ひかり電話の転設箇所等設定変更是こちら

ひかり電話（西日本）

ひかり電話の転設箇所等設定変更是こちら

設定変更（レタルバロIP-GW）

レンタルバロIP-GWの設定変更是こちら

電話明細

通信費、音声料金に含まれた管理

③ オンライン手続き

(Arcstar IP Voice ひかり電話)

新規のお申込み・資料請求

サービスに関する各種お申込みはこちら

変更・廃止のお申込み

変更・廃止のお申込みはこちら

変更・廃止のお申込み履歴

変更・廃止のお申込み履歴

1 ビジネスポートログイン後、「ご利用中のサービスから表示」から「Arcstar IP Voice」を選択し、「ご契約・運用状況」をクリックして下さい。



次ページ

# 1. お客様による取付・設定の方法

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- または
- ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

ガイドNo.⑥-1

# 1. お客様による取付・設定の方法

- 2 設定をする本装置の“契約番号(N番号)”をクリックして下さい。



- 3 VoIP-GW情報の“詳細を表示”をクリックして下さい。

※複数表示される場合は、当該VoIP-GWの基本契約番号のVoIP-GW情報をクリックして下さい。



- 4 “ログイン初期情報”をクリックして下さい。

表示されるログインID/パスワード(初期値)を利用して、装置にログインをして下さい。

注) お客様にてパスワード変更した場合も、出荷時のパスワード(初期値)の表示となります。

### <注2> パスワードの変更手順

- 1 「基本設定」をクリックして下さい。



- 2 「ユーザ用アカウント設定」をクリックして下さい。



- 3 「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認」を入力してください。

注) 半角英数字16文字以内の任意の値



- 4 「設定保存」をクリックしてください。



- 5 「再起動」をクリックしてください。

**【注意！】** パスワード設定時の再起動の間、通話中の呼は切断され、また、IP電話の発着信はできませんので、注意してください。

**【注意！】** 設定画面において、お客様ご自身で設定できるインターネット接続等に関わる項目や具体的な入力方法については、同梱の「取扱説明書」「機能詳細ガイド」(CD-ROM)を参照願います。(※オンライン設置時も同様)

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- または ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

**<注3> 接続先(PPPoE)の設定**

ルータ設定>WANインターフェース設定>接続先(PPPoE)

接続先(PPPoE)

PPPoEセッションの設定を行います。

※各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は必ず「設定保存」ボタンをクリックしてください。  
「設定保存」ボタンをクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。

3 設定保存[ボタンをクリック後は、再起動を行うことにより、保存されたデータが有効になります。]

設定保存 元に戻す

PPPoeセッション1

「基本設定」

インターフェース名	PPPoE	半角8文字以内で入力してください。
セッション	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
接続モード	<input checked="" type="radio"/> 常時接続 <input type="radio"/> 要求時接続	
「認証設定」		
ユーザー名	1 半角256文字以内で入力してください。	
パスワード	2 半角256文字以内で入力してください。	
「IPアドレス設定」		
アドレス設定方法	自動	

【注意！】再起動の間、通話中の呼は切断され、また、IP電話の発着信はできませんので、注意してください

1. お客様による取付・設定の方法

1 以下を入力してください。

- ◆入力項目
- ・認証ID(→認証ユーザ名)
- ・認証パスワード

※ご利用内容のご案内をご準備、ご確認ください。

2 「セッション」欄のラジオボタン [有効]をチェックしてください。

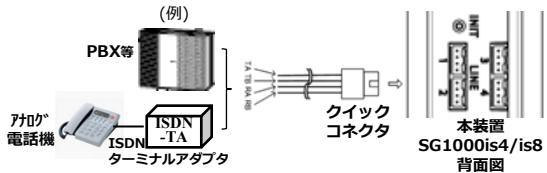
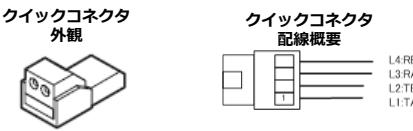
3 1 2 の入力設定完了後、[設定保存]をクリックして下さい。

## 【STEP4】本装置に電話機等を接続し、開通試験を実施します

## 1) クイックコネクタの準備

※作業手順や注意点は「2. クイックコネクタ配線時の注意事項」を参照。

本装置とお客様準備の装置(PBX、デジタル電話機、又はISDNターミナルアダプタ)を接続するには、本装置に接続する側の電話線のコネクタ(RJ-45)を本装置のLINEポートの形状に合わせるため、クイックコネクタに付替える必要があります。



本装置とお客様準備の装置は、ストレート接続(双方のL1～L4が各々一致するように接続)する必要があります。クイックコネクタに付替える際には、十分に注意願います。

## 2) 開通試験

以下の要領で開通試験を実施してください。

## ◆ 発信試験

- 1) 受話器をあげて、ツー音が聞こえることを確認してください。
- 2) ゆっくり「1111」をダイヤルしてください。
- 3) 電話がつながり、以下のガイダンスが流れます(通話料無料)。

『正常に接続されました・・・』

## ◆ 着信試験(通話料はお客様ご負担となります)

- 1) 携帯電話/固定電話等から、今回ご利用頂くIP電話番号(基本契約番号)をダイヤルします。
- 2) IP電話に着信しましたら受話器をあげて正常に会話ができるかを確認してください。

## 困ったときは…

- IP電話から発信できません...(受話機をあげてもツー音が聞こえない場合)
    - クイックコネクタの配線でL1～L4は正しく結線されていますか？クロス状態の時にはツー音が聞こえません。
    - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(STEP2から確認した後、STEP1から再度配線を見直してください)。
  - IP電話に着信できません...
    - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか？(VoIPランプが点灯していますか？配線を見直してください)
- \*本装置をビジネスホン/PBX等に接続している場合は、必ず一度取り外して、単体アナログ電話機(ISDNターミナルアダプタも接続要)またはデジタル電話機を直接接続して、試験を実施してください。

ご不明な点は、販売担当者までご相談ください。

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- または
- ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

## § ご確認ください!!



このガイドは、以下のいずれかを利用して、「UPnP接続」を行う場合のものです。

- Arcstar IP Voice(OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- Arcstar IP Voice(OCN<C>)

## 【取付作業等を始める前に】

本ガイドでは、VoIPゲートウェイ装置(以下、「本装置」)をお客様ご自身で取付・設置される際の手順をご案内しております。本紙に記載された手順通りに作業を行って頂くことにより、スムーズにIP電話のご利用を開始できます。



## 【STEP1】お客様準備のブロードバンドルータの設定を確認します

本装置を接続する前に、お客様が準備/設置されたブロードバンドルータ装置(以下、「お客様ルータ」)の設定内容をご確認ください。

## ①UPnP(IGD)機能の設定

お客様ルータにおいて「UPnP(IGD)」をONに設定してください。

## ②LAN側IPアドレスの確認

お客様ルータのLAN側で利用するIPアドレス(DHCPサーバで割振られる場合は払い出されるIPアドレス)は、下記のIPアドレスと重複しないように設定願います。

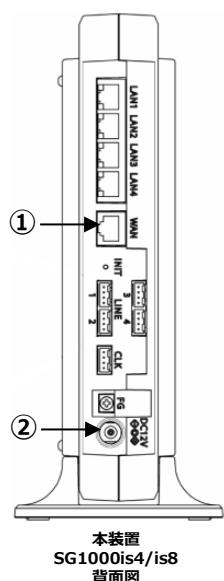
<本装置のLAN側IPアドレス> 192.168.189.1

**【注意!】** お客様がヒアリングシートで上記とは別のIPアドレスを指定された場合は、指定されたIPアドレスが「LAN側IPアドレス」となりますので、設定時にご注意願います。

## ③PPPの接続確認

お客様ルータで、PPPoEセッションの接続が確立していることを確認してください。

**※上記の各設定方法/確認方法については、お客様ルータの取扱説明書等により、ご確認ください。**



## 【STEP2】本装置とお客様ルータを接続します

お客様ルータのLANポートと本装置のWANポートをRJ-45のストレートケーブルで接続します。(右図の①が本装置のWANポートです)

※まだ、本装置に電源ケーブルを差し込まないでください。

※配線を間違えると通信できませんので、右図をよくご確認の上、作業を進めてください。

**【注意!】** お客様ルータと本装置の間にハブ装置をはさむ等の構成の場合、接続方法については、別途、弊社販売担当者におたずねください。

# 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または
- ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

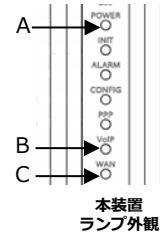
## 【STEP3】本装置の電源を入れます

- ①本装置の電源アダプタコード端子に電源アダプタのDCプラグを差し込んでください。

(前項右下図の②が本装置の電源アダプタコード端子です)

- ②本装置のランプ状態を確認します。なお、各ランプが点灯するまで90秒程かかります。※ランプ表示の詳細はP.36参照。

POWER点灯(緑) - ランプA  
VoIP点灯(緑) - ランプB  
WAN点灯(緑) - ランプC



### 困ったときは…

- POWERランプが点かない  
→電源ケーブルが抜けていませんか？
- WANランプが点かない  
→接続方法が間違っていませんか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→お客様ルータのUPnP設定はIGDで利用する設定になっていますか？
- VoIPランプが点かない  
→接続方法が間違っていませんか？ WANポートのケーブルはつながっていますか？  
→お客様ルータのPPPoEセッションは接続されていますか？  
→お客様ルータのUPnP設定はIGDで利用する設定になっていますか？

※上記を確認してもランプが正常に点灯しない場合、本装置の電源を入れなおしてください。

## 【STEP4】パスワードの値を変更します

- ①本装置のLANポートにパソコンを接続してください。

- ②パソコンを起動し、Webブラウザ(Internet Explorer等)を開いてください。

- ③次のアドレス(URL)、パスワードを入力し、設定画面にログインしてください。

- アドレス(URL) : <http://192.168.189.1>
- ユーザID : ビジネスポートでご確認ください。\*
- パスワード(初期値) : ビジネスポートでご確認ください。\*

※ユーザID/パスワード(初期値)の確認方法は、<注1>に記載の通りです。

セキュリティ対策上、お客様にて必ずパスワードを初期値から任意の値に変更(<注2>を参照)してください。なお、変更後のパスワードは、お客様自身で適切な管理・運用をお願いいたします。

### <注1> ユーザID/パスワード確認方法

- 1 ビジネスポートログイン後、「ご利用中のサービスから表示」から「Arcstar IP Voice」を選択し、「ご契約・運用状況」をクリックして下さい。



次ページ

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

- ・ Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」
- または ・ Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

This screenshot shows the 'Arcstar IP Voice ご契約・運用状況一覧' (Contract Status Overview) screen. It displays a grid of 383 contracts. A yellow box highlights the second column, labeled '契約番号' (Contract Number), which corresponds to step 2.

2 設定をする本装置の“契約番号(N番号)”をクリックして下さい。



This screenshot shows the '基本契約番号一覧' (List of Basic Contract Numbers) screen for the SG1000is4 model. It lists one entry with contract number 050. A yellow box highlights the '詳細を表示' (View Details) button next to the contract number, corresponding to step 3.

3 VoIP-GW情報の“詳細を表示”をクリックして下さい。

※複数表示される場合は、当該VoIP-GWの基本契約番号のVoIP-GW情報をクリックして下さい。



This screenshot shows the 'レンタルVoIP-GW情報' (Rental VoIP-GW Information) screen for contract number 050. It displays various connection details. A yellow box highlights the 'ログイン初期情報' (Login Initial Information) tab, corresponding to step 4.

4 “ログイン初期情報”をクリックして下さい。

表示されるログインID/パスワード(初期値)を利用して、装置にログインをして下さい。

注) お客様にてパスワード変更した場合も、出荷時のパスワード(初期値)の表示となります。

## &lt;注2&gt; パスワードの変更手順

This screenshot shows the 'ユーザ用アカウント設定' (User Account Setting) screen. Step 1 highlights the '再起動' (Restart) button. Step 2 highlights the 'ユーザ用アカウント設定' (User Account Setting) option. Step 3 highlights the '新規パスワード' (New Password) and '新規パスワードの確認' (Confirm New Password) fields. Step 4 highlights the '設定保存' (Save Settings) button. Step 5 highlights the '再起動' (Restart) button again.

1 「基本設定」をクリックして下さい。



2 「ユーザ用アカウント設定」をクリックして下さい。



3 「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認」を入力してください。



注) 半角英数字16文字以内の任意の値

4 「設定保存」をクリックして下さい。



5 「再起動」をクリックしてください。



【注意！】パスワード設定時の再起動の間、通話中の呼は切断され、また、IP電話の発着信はできませんので、注意してください

【注意！】設定画面において、お客様ご自身で設定できるインターネット接続等に関わる項目や具体的な入力方法については、同梱の「取扱説明書」「機能詳細ガイド」(CD-ROM)を参照願います。(※オンラインサイト設置時も同様)

## 【(VI型) SG1000is4 / (VII型) SG1000is8】

- ・Arcstar IP Voice (OCN<B>)かつ「光アクセス IP1または動的IPアドレス」  
または
- ・Arcstar IP Voice (OCN<C>)のいずれかを利用する場合

### 【STEP5】本装置に電話機等を接続し、開通試験を実施します

#### 1) クイックコネクタの準備

本装置とお客様準備の装置(PBX、ディジタル電話機、又はISDNターミナルアダプタ)を接続するには、本装置に接続する側の電話線のコネクタ(RJ-45)を本装置のLINEポートの形状に合せるため、クイックコネクタに付替える必要があります。



本装置とお客様準備の装置は、ストレート接続(双方のL1~L4が各々一致するように接続)する必要があります。クイックコネクタに付替える際には、十分に注意願います。

#### 2) 開通試験

以下の要領で開通試験を実施してください。

##### ◆ 発信試験

- 1)受話器をあげて、ツー音が聞こえることを確認してください。
- 2)ゆっくり「1111」をダイヤルしてください。
- 3)電話がつながり、以下のガイダンスが流れます(通話料無料)。  
『正常に接続されました・・・』

##### ◆ 着信試験(通話料はお客様ご負担となります)

- 1)携帯電話/固定電話等から、今回ご利用頂くIP電話番号(基本契約番号)をダイヤルします。
- 2)IP電話に着信しましたら受話器をあげて正常に会話ができる事を確認してください。

#### 困ったときは…

- ・IP電話から発信できません...(受話機をあげてもツー音が聞こえない場合)
    - クイックコネクタの配線でL1~L4は正しく結線されていますか? クロス状態の時にはツー音が聞こえません。
    - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか?(STEP2から確認した後、STEP1から再度配線を見直してください)。
  - ・IP電話に着信できません...
    - 本装置の前面ランプは正常に点灯していますか?(VoIPランプが点灯していますか? 配線を見直してください)
  - ・音声がとぎれます...
    - お客様ルータのLANポートと本装置のWAN側ポートのインターフェースのアンマッチが考えられます。
    - お客様ルータのLANポートの設定と本装置のWAN側インターフェースをご確認ください。
- ※本装置をビジネスホン/PBX等に接続している場合は、必ず一度取り外して、単体アナログ電話機(ISDNターミナルアダプタも接続要)  
またはデジタル電話機を直接接続して、試験を実施してください。

**ご不明な点は、販売担当者までご相談ください。**

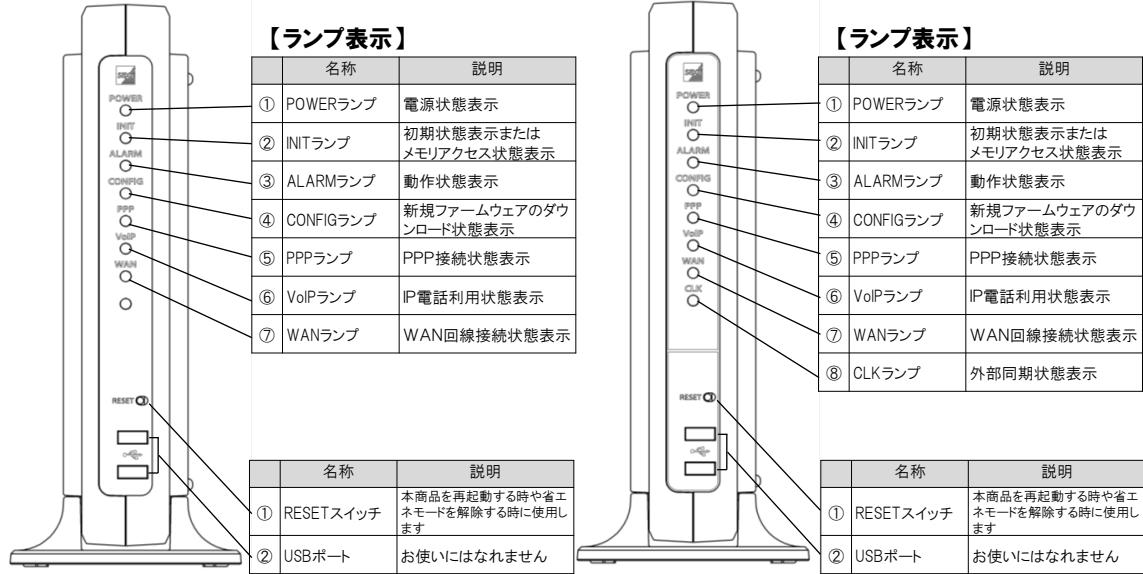
# Memo

# 1. お客様による取付・設定の方法

## 本装置のランプ表示に関する詳細

- SG1000an4 (アナログインターフェース (4チャネル))
- SG1000an8 (アナログインターフェース (8チャネル))

- SG1000is4 (ISDNインターフェース (4チャネル))
- SG1000is8 (ISDNインターフェース (8チャネル))



表示箇所	LED 種別	ランプ状態 (色)	説明
前面	POWER	消灯	電源 OFF
		点灯 (緑)	電源 ON
		点滅 (緑)	省エネモード中
	INIT	消灯	通常状態
		点灯 (赤)	初期状態 (工場出荷時状態)
		点滅 (赤)	フラッシュアクセス中
	ALARM	消灯	正常な状態
		点灯 (赤)	ハード障害 (FLASH、SDRAM、DSP、SLIC 等)、ブート時
		点滅 (赤)	ソフト障害 (データ破壊、設定ミス等)
	CONFIG	消灯	自動設定未使用時
		点滅 (緑)	ファームダウンロード済みで装置再起動未の状態
		点灯 (緑) (未提供)	VoIP 設定完了 (前回設定情報での運用状態含む)
		点滅 (緑) (未提供)	VoIP 設定を設定中 (初期発信での自動設定中)
		点灯 (赤) (未提供)	VoIP 設定が失敗 (自動設定認証エラー)
		点滅 (赤) (未提供)	VoIP 設定が失敗 (自動設定その他のエラー)
	PPP	消灯	オフライン
		点灯 (緑)	全セッション接続中
		点滅 (緑)	セッション接続トライ中
	VoIP	消灯	VoIP 利用不可
		点灯 (緑)	VoIP 利用可能
		点滅 (緑)	VoIP 使用中
	WAN	消灯	WAN 回線未接続 (利用不可)
		点灯 (緑)	WAN 回線接続状態 (利用可)
		点滅 (緑)	データ通信中
	CLK	消灯	自走状態
		点灯 (緑)	外部同期状態
背面	LAN リンク ×4	消灯	LAN 回線未接続 (利用不可)
		点灯 (緑)	LAN 回線接続状態 (利用可)
		点滅 (緑)	データ通信中
	LAN スピード ×4	消灯	回線未接続または 10Mbps 接続状態
		点灯 (橙)	100Mbps または 1000Mbps 接続状態

## 2. クイックコネクタ配線時の注意事項



### 【お読みください】

◎全てのお客様に関わる事項ですので、お読みください。

LANケーブルまたは電話線ケーブルの片端コネクタを  
クイックコネクタに付替える際の配線等について  
注意していただきたい事項

(IV型) SG1000an4

または

(V型) SG1000an8 の場合

⇒P29 ▶

(VI型) SG1000is4

または

(VII型) SG1000is8 の場合

⇒P30 ▶

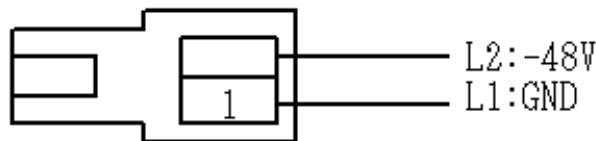
## 2. クイックコネクタ配線時の注意事項

### 電話線ケーブルの片端コネクタをクイックコネクタに付替える際の配線等について注意していただきたい事項

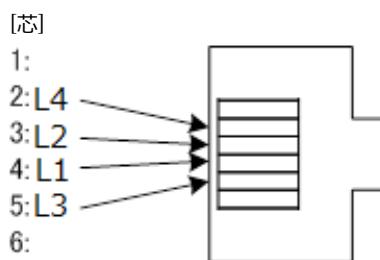
(IV型) SG1000an4 または (V型) SG1000an8 の場合

お客様がご利用されるPBX/ビジネスホン又は電話機と本装置を接続する際、本装置側のLINEポート(差込口)の形状が「RJ-11」規格ではないため、お客様の準備された電話線ケーブル(「RJ-11」規格)に関して、本装置向け片端の「RJ-11」コネクタを切断して外し、クイックコネクタに付替えて頂く必要があります。

クイックコネクタへの付替えに関する芯の装着等について、必要な作業手順及び注意事項を以下に記しましたので、参照願います。



クイックコネクタ側の配線  
(クイックコネクタを上方から見た図)



電話線/ RJ-11コネクタ(6極4芯例)側の配線  
(RJ-11コネクタを先端から見た図)

1. 電話線のRJ-11コネクタの「3」(=L2)、「4」(=L1)の各芯の色を確認する。
2. 電話線ケーブルの片端(RJ-11コネクタ含む)を切断する。
3. 上記2で切断した部分から2~3cm程度の部分の被覆をケーブルカッター等で剥ぐ。
4. 上記1で確認した「3」「4」の芯以外の色の芯を切断する。
5. 上図に合わせ、銅線を剥き出す形で、「4」の芯をクイックコネクタの「L1」の穴、「3」の芯を同「L2」の穴へ各々差し込む。
6. クイックコネクタの穴の奥まで各ピンを差し込んだことを確認し、コネクタに力を加えて各芯を圧着・固定し、装着する。

注1)電話線/ RJ-11コネクタには、実装する芯の数によって2本、4本、6本の3種類がありますが、いずれの場合でも、クイックコネクタに装着させる電話線側の芯は、中心にある「3」「4」だけを使用します。

注2)電話線(RJ-11)のGND部分は、ケーブルによって異なる可能性があるため、上図の通りに装着後、疎通が取れない場合は、「L1」と「L2」をクロスさせて装着し直し、確認願います。

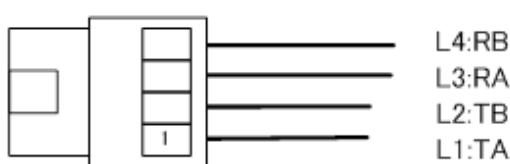
## 2. クイックコネクタ配線時の注意事項

### LANケーブルの片端コネクタをクイックコネクタに付替える際の配線等に関して注意していただきたい事項

(VI型) SG1000is4 または (VII型) SG1000is8 の場合

お客様がご利用されるPBX/ビジネスホンと本装置を接続する際、本装置側のLINEポート(差込口)の形状が「RJ-45」規格ではないため、お客様の準備されたLANケーブル(「RJ-45」規格)に関しては、本装置向け片端の「RJ-45」コネクタを切断して外し、クイックコネクタに付替えて頂く必要があります。

クイックコネクタへの付替えに関わる芯の装着等について、必要な作業手順等を以下に記しましたので、参照願います。



クイックコネクタ側の配線  
(クイックコネクタを上方から見た図)

[芯]

1:

2:

3:TA

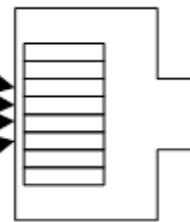
4:RA

5:RB

6:TB

7:

8:



LANケーブル/ RJ-45コネクタ側の配線  
(RJ-45コネクタを先端から見た図)

1. LANケーブルのRJ-45コネクタの「3」(=TA)、「4」(=RA)、「5」(=RB)、「6」(=TB)の各芯の色を確認する。
2. LANケーブルの片端(RJ-45コネクタ含む)を切断する。
3. 上記2で切断した部分から2~3cm程度の部分の被覆をケーブルカッター等で剥ぐ。
4. 上記1で確認した「3」「4」「5」「6」の芯以外の色の芯を切断する。
5. 上図に合わせ、銅線を剥き出す形で、「3」の芯をクイックコネクタの「L1」(=TA)、「6」の芯を同「L2」(=TB)、「4」の芯を同「L3」(=RA)、「5」の芯を同「L4」(=RB)の穴へ各々差し込む。
6. クイックコネクタの穴の奥まで各ピンを差し込んだことを確認し、コネクタに力を加えて各芯を圧着・固定し、装着する。

注)本装置のCLK(クロック同期用)ポートもクイックコネクタ対応となっていますので、上記同様、「RJ-45」規格ケーブルの片端にクイックコネクタの装着を行って、接続願います。

# Memo

### 3. ビジネスホン/PBX接続時の注意事項

#### ⚠【お読みください】

◎対象となる接続形態や対象となるサービス/機能をご利用される場合は、お読みください。

#### VoIPゲートウェイ装置をお客様のビジネスホン/PBXと接続するときにご注意していただきたい補足事項

##### <機種共通>

- ◆ お客様PBX装置がアースをとる場合
- ◆ 音量設定(送信/受信ゲイン)について

⇒P31へ

##### <IV型/V型関連>

- ◆ ナンバーディスプレイ機能の利用時
- ◆ ダイヤルイン機能の利用時

⇒P32へ

##### <VI型/VII型関連>

- ◆ クロック信号の同期について

### 3. ビジネスホン/PBX接続時の注意事項

## VoIPゲートウェイ装置をビジネスホン/PBXと接続するときに ご注意していただきたい補足事項

本装置にお客様がご利用されるビジネスホン/PBX(以下、「PBX装置」)を接続する際、注意して頂きたい補足事項につきまして、機種共通の事項、IV型/V型(FXS)の関連事項、VI型/VII型(BRI)の関連事項に3区分し、以下に記しましたので、参照願います。

なお、詳細については、対応させて頂きました弊社側の販売担当者または貴社の取引先PBX装置ベンダ等にご相談ください。

### VI型～VII型 機種共通の事項

#### ◆ お客様PBX装置がアースをとる場合は、本装置側でもアースをとることを推奨します。

本装置とPBX装置を接続する際、ごく稀に機器の相性によって正常に着信ができない事象の発生することがあります。

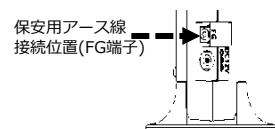
お客様環境等により、本装置とPBX装置との間に電位差が生じて、着信や切断を検知する電気信号が正常に伝わらないことが原因として考えられます。

予防策として PBX装置側がアースをとっている場合は、本装置においても、以下のいずれかの方法でアースをとって頂くことを推奨いたします。

- (1) PBX装置のアース線が接続されている同一のアースと本装置のFG端子をアース線で接続する。  
or (2) PBX装置のFG端子と本装置のFG端子をアース線で接続する。

- IP電話への着信呼が切られたのに、鳴りっ放しになっている。
- 着信して受話器をあげると数秒後に突然切断される。
- ナンバーディスプレイが正常に表示されない。
- ダイヤルイン信号が正常に伝わらない。
- 正常に着信ができない。

本装置背面図



上記の事象が発生した場合は、電位差が生じている可能性が考えられるので、PBX装置ベンダ等にご相談ください。

#### ◆ 音量設定(送信/受信ゲイン)にご注意ください

本装置では、音量レベルは、お客様がヒアリングシートに記入された内容通りに設定(なお、選択肢の初期値は「送信レベル0dB」「受信レベル0dB」)しています。

本装置とPBX装置を接続する際は、一般電話、携帯電話、IP電話との通話試験を実施し、PBX装置側において適切な音量レベルとなるように設定してください。

### 3. ビジネスホン/PBX接続時の注意事項

## VoIPゲートウェイ装置をビジネスホン/PBXと接続するときに ご注意していただきたい補足事項

### (IV型) SG1000an4/(V型) SG1000an8 の関連事項

#### ◆ ナンバーディスプレイ利用の場合、本装置に同信号送信が設定されています。

本装置でのナンバーディスプレイ機能利用について、ヒアリングシートで「オン」を選択された場合、通常の着信信号の前にナンバーディスプレイ信号を付けてPBX装置側に送信する設定になっています。

万一、受信側のPBX装置(または電話機等)側で受話器をあげた瞬間、切断されるなど、正常に着信させることができない事象が生じた場合は、PBX装置にナンバーディスプレイ対応のパッケージを実装するか、あるいは(PBX装置がナンバーディスプレイ非対応であることが判明した場合等は)本装置側のナンバーディスプレイ機能を「オフ」に設定変更(設定変更工事の申込が別途要)するなどの対処が必要です。

#### ◆ PBX装置接続でダイヤルイン機能利用の場合、本装置に機能種別が設定されています。

本装置では、下記2種類のダイヤルイン機能をサポートしています。

- ① モデムダイヤルイン(全行送出)
- ② PBダイヤルイン(下1~4行送出) ←※ナンバーディスプレイ利用不可

ヒアリングシートで選択していただいた通りに、PBX装置側が対応しているダイヤルイン機能の種別を本装置に設定していますので、改めてPBX装置の設定をご確認願います。

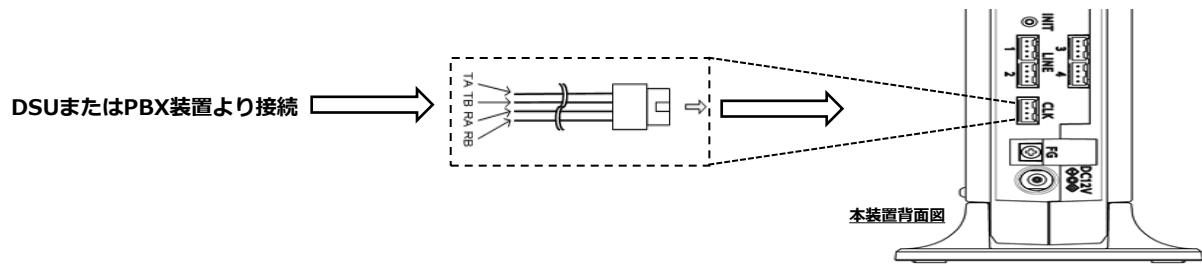
### (VI型) SG1000is4/(VII型) SG1000is8 の関連事項

#### ◆ クロック信号の同期について確認してください

本装置では、クロック信号の同期用に、DSU～PBX装置間で接続しているISDN基本インターフェース(S/T点)をバス配線にて接続するインターフェースを実装しています(BRIの「クイックコネクタ」を指します)。

DSUまたはPBX装置につながるケーブルをCLKポートに接続したとき、クロック同期信号を受信できる場合、本装置ではそのクロック信号に「従属」します。しかし、CLKポートへの接続有無に関わらず受信する信号がない場合は、「自走」モードとなります。このとき、LINEポートに接続したケーブルを介し、本装置からPBX装置へクロック信号を発信・供給します。

- ・ ISDN回線により網側からクロック信号の同期をとる場合(網への従属モード)は、ISDN回線の利用契約において、「ポイント・マルチポイント接続」または「ポイント・ポイント接続レイヤ1常時起動」のいずれかを選択してください。
- ・ PBX装置でISDN回線を利用(INS64「ポイント・ポイント接続」、INS64「ポイント・マルチポイント接続」、INS1500「ポイント・ポイント接続」)し、PBX装置側からクロック信号の同期をとる場合(PBX装置への従属モード)は、本装置のCLKインターフェースと接続するため、PBX装置において、「ポイント・マルチポイント接続常時起動」(S/T点)が可能な内線ユニット等を実装する必要があります。なお、CLKインターフェースには終端抵抗が実装されていないので、必要に応じて終端抵抗(100Ω)を別途購入してください。



# Memo

## 4.『ひかり電話』併用時の注意事項

### ⚠【お読みください】

◎下記の接続形態の場合で、かつ、NTT東日本/西日本が提供する『ひかり電話』サービスを併用される場合に、お読みください。

(1) Arcstar IP Voice (OCN<B>)  
かつ「光アクセス IP1 または 動的IPアドレス」

<または>

(2) Arcstar IP Voice (OCN<C>)

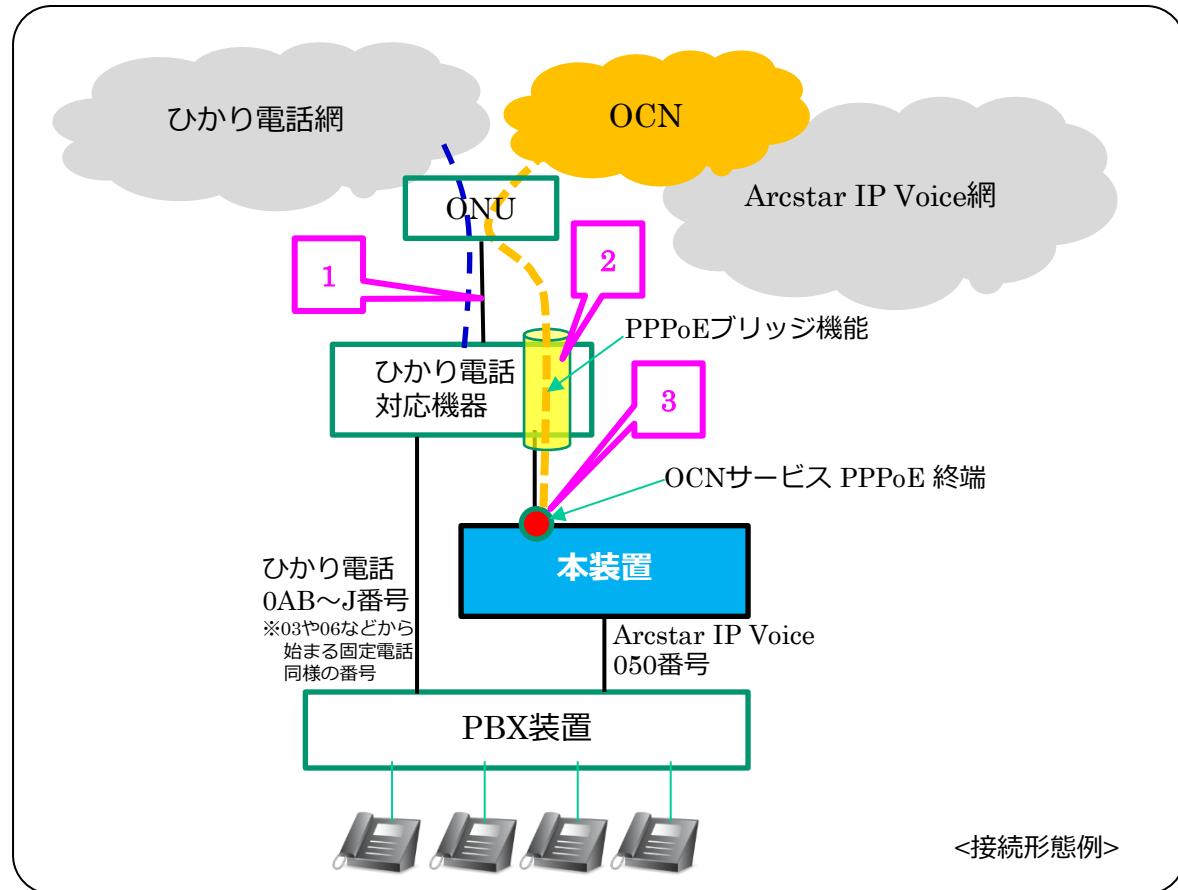
なお、上記(1)(2)共に「PPPoE接続」の場合に限ります。

※ガイド③-1、及びガイド⑥-1の場合に相当します。

## 4. 『ひかり電話』併用時の注意事項

### VoIPゲートウェイ装置を接続して『ひかり電話』サービスを併用する場合に、ご注意していただきたい補足事項

『ひかり電話』サービスと『Arcstar IP Voice』を併用する形で、本装置を接続してご利用される場合は、以下の補足事項につきまして、参照願います。



#### ① ひかり電話対応機器(ルータ等)の接続構成

『ひかり電話』対応機器の接続構成については、『ひかり電話』サービスを提供するNTT東日本/西日本のHP等を必ず参考して下さい。

なお、**ひかり電話対応機器はONUに直接接続し、HUB装置等を間に接続しないで下さい。**

<ひかり電話HP>

<https://flets.com/hikaridenwa/office/use/>  
<https://flets.com/hikaridenwa/support/trouble.html>

#### ② ひかり電話対応機器のルータ設定

『Arcstar IP Voice』の本接続形態では、OCNサービスの「PPPoE接続」を利用するため、上位(WAN側)に接続するひかり電話対応機器に関しては、**ルータ設定において「PPPoEブリッジ機能を必ず「有効」として下さい。**

#### ③ 本装置における設定

本装置の設定画面上で、「PPPoE」の設定を必ず行って下さい。

また、設定画面から、WAN側IPアドレス設定方法は、「無効」とすることを推奨します。

- ・設定画面：ルータ設定> WANインターフェース設定> WAN
- ・設定項目：IPv4アドレス設定> アドレス設定方法

# Memo

## 4. 固定IPアドレス付与時の注意事項



◎下記の接続形態の場合で、かつ、お客様がLAN側の接続機器向けに固定のIPアドレスを付与する場合にお読みください。

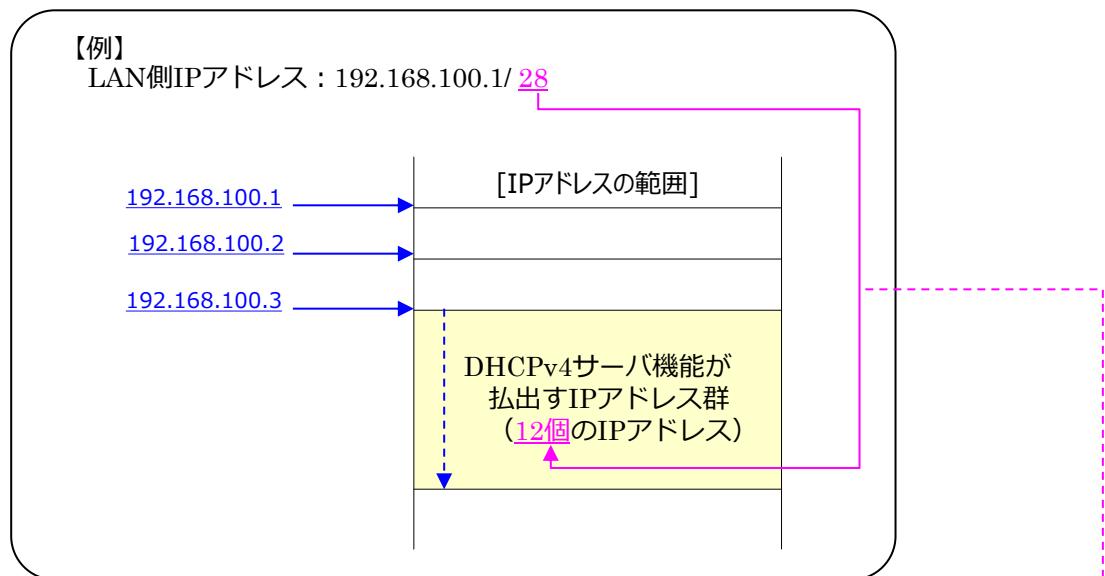
- (1) Arcstar IP Voice (OCN<B>  
かつ「光アクセス IP1 または 動的IPアドレス」  
<または>  
(2) Arcstar IP Voice (OCN<C>)

なお、上記(1)(2)共に「PPPoE接続」の場合に限ります。  
※ガイド③-1、及びガイド⑥-1の場合に相当します。

## 4. 固定IPアドレス付与時の注意事項

### お客様がLAN側の接続機器向けに固定のIPアドレスを付与する場合に留意いただきたい事項

本装置では、LAN側IPアドレスの他に、内部処理用にもIPアドレス1個を利用します。また、出荷時の状態では、DHCPv4サーバ機能による払い出し用のIPアドレスの範囲が予め設定されています。従って、お客様が独自にLAN側の接続機器用に固定IPアドレスを付与する場合は、以下の点に十分留意願います。



①本装置では、「LAN側IPアドレス」として設定された1個のIPアドレス以外に、もう1個のIPアドレス(=内部処理用IPアドレス)が必要となります。この内部処理用IPアドレスは、「LAN側IPアドレス」の4オクテット目の数値に「1」を足したものとなり、上記例の場合では、内部処理用IPアドレスは、[192.168.100.2]となります。

②また、本装置のDHCPv4サーバ機能によって払い出されるIPアドレスは、内部処理用IPアドレスの4オクテット目の数値に「1」を足したもの(上記例では、[192.168.100.3])が1個目となり、4オクテット目の数値が順番に大きくなる形で、所定個数分の範囲内で発行されます。

なお、DHCPv4サーバ機能によって払い出されるIPアドレスの最大個数は、右表の通り、「LAN側IPアドレス」マスク長により決まっています。

LAN側IPアドレスマスク長	IPアドレスの払い出し最大個数
24	64
25	64
26	60
27	28
28	12
29	4

上記の通り、「LAN側IPアドレス」、内部処理用IPアドレス、DHCPv4サーバ機能で払い出されるIPアドレスは、4オクテット目の数値における連番(順序数)になりますが、**これらの範囲([LAN側IPアドレス]からDHCPv4サーバ機能払い出しの最大個数までのアドレスまで)と同一のIPアドレスについては、DHCPv4サーバ機能の利用有無に関わらず、お客様がLAN側の接続機器向けの固定IPアドレスとして付与することは絶対に行わないでください。**

※上記例では、[192.168.100.1/28]から[192.168.100.14/28]までのIPアドレスをお客様が固定のIPアドレスとして独自に付与することはできません。

# Memo

- 記載内容は2025年7月現在のものです。
- 記載のサービス仕様、装置等は予告なく変更する場合がございます。
- 本ガイドブックの無断複写複製(コピー)・転載を禁じます。
- 記載されている企業名やサービス/製品名は各社の商標または登録商標です。